

My webMethods ユーザガイド

バージョン 10.1

2017 年 10 月

このマニュアルは、My webMethods バージョン 10.1 およびそれ以降のリリースに適用されます。

このマニュアルに含まれる仕様は、変更されることがあります。変更内容については、それ以降のリリースノート、または次のエディションで報告されます。

Copyright © 2004-2017 Software AG, Darmstadt, Germany and/or Software AG USA Inc., Reston, VA, USA, and/or its subsidiaries and/or its affiliates and/or their licensors.

Software AG およびすべての Software AG 製品の名前は、Software AG, Software AG USA Inc.、またはその子会社やサイゼンサーの商標または登録商標です。このマニュアルに記載されたその他の企業名および製品名は、それぞれの所有者の商標です。

Software AG とその子会社が所有する商標および特許に関する詳細情報は <http://softwareag.com/licenses> にあります。

本ソフトウェアはサードパーティ製品の一部を含む場合があります。サードパーティの著作権情報、ライセンス条項、追加の権利や制約については、「License Texts, Copyright Notices and Disclaimers of Third Party Products」を参照してください。特定のサードパーティのライセンス条項や制約については、「License Terms and Conditions for Use of Software AG Products / Copyright and Trademark Notices of Software AG Products」の「Legal Notices」の E 項を参照してください。これらのドキュメントは、<http://softwareag.com/licenses> またはライセンス製品のルートインストールディレクトリから取得できる製品ドキュメントの一部として参照できます。

Software AG のライセンス許諾書によって特別に明示されていない限り、使用、コピー、転送、公開および開示は禁止されています。

ドキュメント ID: MWM-UG-101-20171017_JA

目次

このマニュアルについて.....	7
表記規則.....	7
オンライン情報.....	8
My webMethods へのログインおよびログアウト.....	9
My webMethods へのログインおよびログアウトについて.....	10
My webMethods へのログイン.....	10
My webMethods からのログアウト.....	11
パスワードの変更.....	11
My webMethods の理解.....	13
My webMethods ユーザインタフェース.....	14
コンテンツ領域およびナビゲーションパネルのサイズ変更.....	15
標準リンク.....	16
タブ.....	16
タブを閉じる.....	17
タブが表示されていないページの表示.....	18
タブの順序の再配置.....	18
ナビゲーションパネル.....	18
[ナビゲーション] タブで使用可能なアプリケーションの選択項目.....	20
[ナビゲーション] タブの [監視] セクション.....	21
[ナビゲーション] タブの [管理] セクション.....	23
[ナビゲーション] タブのワークスペースの選択項目.....	31
[ツール] タブのツールの選択項目.....	31
[ツール] タブの [レイアウト] セクション.....	31
[ツール] タブの [MWS の監視と診断] セクション.....	31
[ツール] タブの [ワークスペースツール] セクション.....	35
アプリケーションページのフォーマット.....	35
ワークスペースページのフォーマット.....	36
webMethods プロファイルの表示および更新.....	39
My webMethods プロファイル.....	40
My webMethods でのユーザの識別.....	40
ユーザ設定の設定.....	42
My webMethods ユーザ設定.....	44
カレンダー.....	45
ビジネスカレンダーの定義.....	46
パーソナルユーザカレンダーの表示.....	46
My webMethods のタイムゾーンの設定.....	49
My webMethods のタイムゾーンの変更.....	50

My webMethods の使用.....	51
ワークスペースについて.....	52
新しいワークスペースの作成について.....	52
新しい空のワークスペースの作成.....	53
「名前を付けて保存」を使用した新しいワークスペースの作成.....	53
ワークスペースのレイアウトの定義.....	53
ワークスペースを開く.....	54
ワークスペースプロパティ.....	55
ワークスペースの全般プロパティの設定.....	56
ワークスペースの名前変更.....	57
ワークスペースの共有.....	57
ワークスペース共有権限.....	58
ワークスペースの共有.....	59
ワークスペースの共有の解除.....	60
ワークスペースを閉じる.....	61
ワークスペースの削除.....	61
ナビゲーションパネルへのワークスペースの追加について.....	61
ナビゲーションパネルへのワークスペースの追加.....	62
ナビゲーションパネルからのワークスペースの削除.....	62
ナビゲーションパネルへのワークスペースフォルダの追加.....	63
ナビゲーションパネルのワークスペースフォルダの名前変更.....	63
ナビゲーションパネルからのワークスペースフォルダの削除.....	63
ワークスペースコンテンツの使用.....	65
ワークスペースコンテンツについて.....	66
ワークスペースへのツールの追加.....	66
アプリケーションページからワークスペースへのウィンドウの追加.....	66
ワークスペース間でのウィンドウの追加.....	68
ワークスペース内のウィンドウの全般プロパティ.....	69
ウィンドウのプロパティの表示.....	70
ワークスペース内のウィンドウの名前変更.....	70
ウィンドウの説明の更新.....	71
ワークスペース内のウィンドウの検索.....	71
ウィンドウのサイズ変更.....	72
ワークスペースでのウィンドウの配置.....	73
ワークスペースからのウィンドウの削除.....	73
ワークスペースを拡張するツールの使用.....	75
MWS の監視ツールと診断ツール.....	76
ワークスペースツール.....	78
添付ファイルツール.....	78
ワークスペースへのファイルの添付.....	79
添付ファイルウィンドウの設定.....	80
添付ファイルの更新.....	81
添付ファイルの削除.....	81

ブックマークツール.....	81
ワークスペースへのブックマークの追加.....	82
ブックマークツールを使用してブックマークしたページにアクセス.....	83
ブックマークのタイトルまたは URL の更新.....	83
ブックマークを現在のウィンドウで開くか新しいウィンドウで開くかの変更.....	83
ブックマークの削除.....	84
ディレクトリブラウザツール.....	84
ワークスペースへのディレクトリブラウザの追加.....	84
HTML テキストツール.....	85
書式設定されたテキストのワークスペースへの追加.....	85
既存の書式設定済みテキストの更新.....	85
イメージツール.....	86
ワークスペースへのイメージの追加.....	86
ワークスペースのイメージの更新.....	87
メモツール.....	88
ワークスペースへの単純なメモの追加.....	88
メモの背景色の変更.....	88
メモへの最終更新日の追加.....	89
既存のメモのテキストの更新.....	89
ユーザカレンダーツール.....	89
ワークスペースへのカレンダーの追加.....	90
別のユーザのカレンダーを表示するように変更.....	90
ユーザ、グループおよび役割の検索.....	91
ユーザ、グループおよび役割の検索について.....	92
ユーザ、グループ、および役割のキーワード検索.....	92
ユーザ、グループまたは役割のキーワード検索の実行.....	93
ユーザおよびグループの高度な検索.....	93
ユーザまたはグループの高度な検索の実行.....	94
データの検索.....	95
データの検索について.....	96
データのキーワード検索.....	98
キーワードで検索されるフィールドの判別.....	99
データのキーワード検索の実行.....	99
データの基本検索および高度な検索.....	99
検索の保存.....	100
保存済み検索の再実行.....	101
保存済み検索の変更.....	101
保存済み検索の削除.....	102
My webMethods ページの検索オプションの設定.....	102
My webMethods で検索結果を表示する形式の定義.....	103
検索結果の並べ替え.....	104
検索結果の再並べ替え.....	104
ページごとに表示する検索結果の行数の定義.....	105
表示する列とその表示順序の設定.....	105

検索結果の操作.....	106
検索結果のアイテムに対するアクションの実行.....	106
検索結果の複数のアイテムに対するアクションの実行.....	106
アイテムの追加.....	107
検索結果の 1 つのアイテムに対するアクションの実行.....	107
ワークスペースへの検索結果の追加.....	107
.csv ファイルへの検索結果のエクスポート.....	108

このマニュアルについて

このマニュアルは、webMethods コンポーネントを管理および監視するための Web ベースのユーザインタフェースである My webMethods のユーザを対象としています。このマニュアルでは、webMethods コンポーネントのページにアクセスする方法やワークスペースの使用方法など、My webMethods の基本機能を切り替えて使用する手順を説明します。

My webMethods で使用可能な webMethods コンポーネントおよび関連タスクのリストは、13 ページの「My webMethods の理解」を参照してください。webMethods コンポーネントを使用してタスクを実行する方法の詳細については、各コンポーネントの適切なマニュアルを参照してください。使用可能なタスクをリストした表には、タスクの詳細情報を記載したマニュアルのタイトルも含まれています。

表記規則

規則	説明
太字	画面上の要素を表します。
縮小フォント	<i>folder.subfolder:service</i> という規則を使用して webMethods Integration Server 上のサービスの保存場所を表します。
大文字	キーボードのキーを表します。同時に押す必要があるキーは、プラス記号 (+) で結んで表記されます。
斜体	独自の状況または環境に固有の値を指定する必要がある変数を表します。本文で最初に出現する新しい用語を表します。
モノスペース フォント	入力する必要があるテキストまたはシステムから表示されるメッセージを表します。
{ }	選択肢のセットを表します。ここから 1 つ選択する必要があります。中カッコの内側にある情報のみを入力します。{ } 記号は入力しません。
	構文行で相互排他的な 2 つの選択肢を区切ります。いずれかの選択肢を入力します。 記号は入力しません。
[]	1 つ以上のオプションを表します。大カッコの内側にある情報のみを入力します。[] 記号は入力しません。
...	同じ種類の情報を複数回入力できることを示します。情報だけを入力してください。実際のコードに繰り返し記号 (...) を入力しないでください。

オンライン情報

Software AG マニュアルの Web サイト

マニュアルは、Software AG マニュアルの Web サイト ([「http://documentation.softwareag.com」](http://documentation.softwareag.com)) で入手できます。このサイトでは Empower クレデンシヤルが必要です。Empower クレデンシヤルがない場合は、TECHcommunity Web サイトを使用する必要があります。

Software AG Empower 製品のサポート Web サイト

製品情報は、Software AG Empower 製品のサポート Web サイト ([「https://empower.softwareag.com」](https://empower.softwareag.com)) で入手できます。

機能および拡張機能に関するリクエストの送信、製品の可用性に関する情報の取得、**「製品」** のダウンロードを実行するには、Products に移動します。

修正に関する情報を取得し、早期警告、技術論文、Knowledge Base の記事を読むには、**「Knowledge Center」** に移動します

Software AG TECHcommunity

マニュアルおよびその他の技術情報は、Software AG TECHcommunity Web サイト ([「http://techcommunity.softwareag.com」](http://techcommunity.softwareag.com)) で入手できます。以下の操作を実行できます。

- TECHcommunity クレデンシヤルを持っている場合は、製品マニュアルにアクセスできます。TECHcommunity クレデンシヤルがない場合は、登録し、関心事の領域として [マニュアル] を指定する必要があります。
- 記事、コードサンプル、デモ、チュートリアルにアクセスする
- Software AG の専門家によって承認されたオンライン掲示板フォーラムを使用して、質問したり、ベストプラクティスを話し合ったり、他の顧客が Software AG のテクノロジーをどのように使用しているかを学んだりすることが可能です。
- オープンスタンダードや Web テクノロジーを取り扱う外部 Web サイトにリンクできます。

1 My webMethods へのログインおよびログアウト

■ My webMethods へのログインおよびログアウトについて	10
■ My webMethods へのログイン	10
■ My webMethods からのログアウト	11
■ パスワードの変更	11

My webMethods へのログインおよびログアウトについて

My webMethods は webMethods コンポーネントを監視および管理するための Web ベースのユーザインタフェースです。My webMethods にログインすると、webMethods に組み込まれているすべての My webMethods コンポーネントにもログインします。ユーザ名およびパスワードは、すべての基底 webMethods コンポーネントに共通です。

たとえば、webMethods Optimize for Process がインストールされている場合、My webMethods にログインすると、この一度のログインで webMethods Monitor と Optimize for Process の両方にも自動的にログインします。My webMethods からログアウトすると、すべての基底 webMethods コンポーネントからもログアウトします。

My webMethods へのログイン

My webMethods には、Web ブラウザを介してアクセスするユーザインタフェースがあります。

重要: My webMethods では JavaScript と Cookie を使用するため、Cookie および JavaScript の実行を許可するように Web ブラウザが設定されていることを確認してください。

My webMethods にログインするには

1. Web ブラウザで URL を入力し、My webMethods の [ログイン] ページにアクセスします。

`http://host:port`

ここで、

- *host* は、My webMethods Server がインストールされているマシンのホスト名。
- *port* は、My webMethods Server が受信する要求を待機するポート。My webMethods のデフォルトポートは 8585 です。

たとえば、ホスト名が `rubicon.company.com` で、デフォルトポート (つまり、8585) を使用する場合、次の URL を入力します。

`http://rubicon.company.com:8585`

2. [ログイン] ページで、My webMethods のユーザ名およびパスワードを入力します。ユーザ名の大文字小文字は区別されません。

メモ: ログインの際にユーザ名として指定する値は、大文字小文字が区別されません。ただし、ログイン後の My webMethods で使用されるユーザ名は、ユーザアカウントに定義されたとおりに大文字小文字が区別されます。たとえば、ユーザアカウントが「Administrator」と定義されている場合は、「administrator」でログインできます。HTTP 認証などの際に My webMethods でユーザ名を使用する必要がある場合には、ユーザアカウントに定義されたとおりの Administrator が使用されます。

メモ: My webMethods のパスワードを変更する方法の詳細については、[11 ページの「パスワードの変更」](#)を参照してください。

3. [ログイン] をクリックします。

最初にログインすると、[ようこそ] ワークスペースが表示されます。その後のログインでは、表示されるページはユーザ設定によって異なります。詳細については、[44 ページの「My webMethods ユーザ設定」](#) および [42 ページの「ユーザ設定の設定」](#) を参照してください。

My webMethods では、My webMethods インタフェースのほぼあらゆる項目へのユーザアクセスを付与または制限するための非常に柔軟性のあるフレームワークが提供されています。管理者は、アクセス特権および機能特権と呼ばれる権限を割り当てます。

- アクセス特権では、表示可能なアプリケーションページを定義します。このガイドに、アクセスできないページおよびメニュー項目 (またはこれらのいずれか) がリストされている場合、そのページを表示するアクセス特権がないことが原因である可能性があります。
- 機能特権では、My webMethods で実行可能なアクションを定義します。表示されないユーザインタフェースコントロール (ボタンなど) がこのマニュアルにリストされている場合は、そのユーザインタフェースコントロールに関連付けられているアクションを実行する機能特権を持っていないことが原因である可能性があります。

アクセス特権および機能特権に関する質問については、My webMethods の管理者に連絡してください。

My webMethods からのログアウト

My webMethods からログアウトするには、以下の手順に従います。

My webMethods からログアウトするには

- すべての My webMethods ページの上部にある [\[ログアウト\]](#) リンクをクリックします。


パスワードの変更

プロフィールの [\[ユーザ情報\]](#) タブにあるフィールドを編集して、パスワードを変更します。

メモ: ユーザアカウントが My webMethods (「System」ディレクトリサービス) で定義された場合にのみ、この手順を使用してパスワードを変更できます。ユーザアカウントが外部のディレクトリ管理システム (LDAP など) で定義されている場合は、その外部ディレクトリ管理システムからパスワードを変更する必要があります。

My webMethods のパスワードを変更するには

1. すべての My webMethods ページの上部にある [\[マイプロフィール\]](#) リンクをクリックします。
2. [\[ユーザ情報\]](#) タブで、[\[パスワード\]](#) フィールドに新規のパスワードを入力します。
3. 確認のため、[\[パスワードの再入力\]](#) フィールドに、新規のパスワードを再入力します。
4. [\[保存\]](#) をクリックします。

5. これ以上プロフィールを変更する必要がない場合は、[マイプロフィール] タブの  アイコンをクリックしてページを閉じます。

2 My webMethods の理解

■ My webMethods ユーザインタフェース	14
■ 標準リンク	16
■ タブ	16
■ ナビゲーションパネル	18
■ [ナビゲーション] タブで使用可能なアプリケーションの選択項目	20
■ [ナビゲーション] タブのワークスペースの選択項目	31
■ [ツール] タブのツールの選択項目	31
■ アプリケーションページのフォーマット	35
■ ワークスペースページのフォーマット	36

My webMethods ユーザインタフェース

My webMethods ユーザインタフェースの例を以下に示します。



ログインしている
ユーザ

My webMethods ページの上部に、ログインしているユーザのユーザ名が常に表示されます。

標準リンク

標準リンクは、My webMethods プロファイルおよび使用中の My webMethods バージョンや webMethods 製品に関する情報へのアクセスを提供します。また、My webMethods からログアウトするための標準リンクもあります。My webMethods では常に、ページの右上に標準リンクが表示されます。詳細については、[16 ページの「標準リンク」](#)を参照してください。

リフレッシュアイ
コン

このアイコンをクリックすると、ナビゲーションパネルがリフレッシュされます。

縮小/展開アイ
コン

このアイコンは、ナビゲーションパネルを非表示にしたり復元したりします。詳細については、[15 ページの「コンテンツ領域およびナビゲーションパネルのサイズ変更」](#)を参照してください。

ナビゲーションパ
ネル

ナビゲーションパネルには、2つのタブがあります。

- **[ナビゲーション]** タブでは、アプリケーションページおよびワークスペースへのアクセスを提供します。詳細については、[18 ページの「ナビゲーションパネル」](#)、[20 ページの「\[ナビゲーション\] タブで使用可能なアプリケーションの選択項目」](#)、[31 ページの「\[ナビゲーション\] タブのワークスペースの選択項目」](#)を参照してください。
- **[ツール]** タブには、ユーザがワークスペースに追加できるリソースがリストされます。詳細については、[18 ページの「ナビゲーションパネル」](#) および

35 ページの「[ツール] タブの [ワークスペースツール] セクション」を参照してください。


タブ	My webMethods開いているアプリケーションページおよびワークスペースごとにタブが表示されます。あるアプリケーションページまたはワークスペースを現在のページにして表示するには、そのタブをクリックします。詳細については、16 ページの「タブ」を参照してください。
[新規] タブ	[新規] タブを使用すると、新規ワークスペースをすばやく作成できます。詳細については、53 ページの「新しい空のワークスペースの作成」を参照してください。
タブ検索	タブ検索を使用すると、開いているタブに移動できます。このコントロールは、多数のタブを開いているために一部が見えなくなっている場合に役立ちます。詳細については、18 ページの「タブが表示されていないページの表示」を参照してください。
サイズ変更アイコン	サイズ変更アイコンを使用すると、ナビゲーションパネルおよびコンテンツ領域のサイズを変更できます。このアイコンは通常は表示されません。ナビゲーションパネルとコンテンツ領域の境目にマウスを置くと、サイズの変更アイコンが表示されます。詳細については、15 ページの「コンテンツ領域およびナビゲーションパネルのサイズ変更」を参照してください。
コンテンツ	アプリケーションページまたはワークスペースのコンテンツが表示される領域です。詳細については、35 ページの「アプリケーションページのフォーマット」および 36 ページの「ワークスペースページのフォーマット」を参照してください。
ウィンドウ検索	ウィンドウ検索を使用すると、ワークスペース内に開かれているウィンドウを現在のウィンドウにすることができます。このコントロールは、多数のウィンドウを開いている場合に役立ちます。詳細については、71 ページの「ワークスペース内のウィンドウの検索」を参照してください。






コンテンツ領域およびナビゲーションパネルのサイズ変更

ページコンテンツにさらに多くの領域が必要な場合は、ナビゲーションパネルのサイズを減らすか、またはナビゲーションパネルを完全に非表示にして Web ブラウザウィンドウの幅全体をコンテンツ領域に使用できるようにすることで、ページコンテンツのサイズを増加できます。

コンテンツ領域およびナビゲーションパネルのサイズを変更するには

1. コンテンツ領域を広くすると同時にナビゲーションパネルを狭くするには、以下の手順に従います。
 - a. ナビゲーションパネルとコンテンツ領域の境目に、マウスを移動します。

My webMethodsサイズの変更アイコン  が表示されます。

- b.  アイコンをクリックして左にドラッグすると、コンテンツ領域のサイズが増え、同時にナビゲーションパネルが狭くなります。
2. ナビゲーションパネルを広くすると同時にコンテンツ領域を狭くするには、以下の手順に従います。
 - a. ナビゲーションパネルとコンテンツ領域の境目に、マウスを移動します。
My webMethodsサイズの変更アイコン  が表示されます。
 - b.  アイコンをクリックして右にドラッグすると、ナビゲーションパネルのサイズが増え、同時にコンテンツ領域が狭くなります。
3. ナビゲーションパネルを完全に非表示にして、コンテンツ領域で Web ブラウザウィンドウの幅全体を使用できるようにするには、[ナビゲーション] タブの左側にある縮小アイコン  をクリックします。
4. ナビゲーションパネルを復元して再び表示するには、ページの左側にある展開アイコン  をクリックします。

標準リンク

次の表では、My webMethods の各ページの上部に表示される標準リンクを説明します。

使用するリンク	目的
[マイプロフィール]	現在のログインユーザのプロファイルにアクセスします。プロファイルを使用して、パスワードを変更したり、ユーザ情報やユーザ設定を指定したりします。プロファイルの詳細については、 39 ページの「webMethods プロファイルの表示および更新」 を参照してください。
[ヘルプ]	My webMethods に組み込まれている webMethods コンポーネントのマニュアルの検索場所を示します。
[製品情報]	My webMethods のバージョンおよび My webMethods で使用中の webMethods コンポーネントに関する情報をリストします。
[ログアウト]	My webMethods からログアウトします。詳細については、 11 ページの「My webMethods からのログアウト」 を参照してください。

タブ

My webMethods開いているアプリケーションページおよびワークスペースごとに、コンテンツ領域の上にタブが表示されます。タブには、アプリケーションページまたはワークスペースの名前が表示されます。

次の図に、タブの機能を示します。



- 左スクロールおよび右スクロール** My webMethodsコンテンツ領域の幅が狭すぎて、開いているすべてのアプリケーションページおよびワークスペースのタブを表示できなくなった場合、スクロール用の矢印タブが表示されます。矢印タブを使用し、左右にスクロールして他のタブを表示します。詳細については、[18 ページの「タブが表示されていないページの表示」](#)を参照してください。
- タブを閉じる** My webMethodsすべてのタブに [閉じる] アイコンが表示されます。このアイコンをクリックしてアプリケーションページまたはワークスペースを閉じると、結果としてタブが削除されます。詳細については、[17 ページの「タブを閉じる」](#)を参照してください。
- メニュー** My webMethods現在のタブにメニューアイコンが表示されます。使用できるメニュー項目は、そのタブがアプリケーションページ用かワークスペース用かに応じて異なります。
- [新規] タブ** [新規] タブを使用すると、新規ワークスペースをすばやく作成できます。詳細については、[53 ページの「新しい空のワークスペースの作成」](#)を参照してください。
- タブ検索** タブ検索を使用すると、開いているタブに移動できます。このコントロールは、多数のタブを開いているために一部が見えなくなっている場合に役立ちます。詳細については、[18 ページの「タブが表示されていないページの表示」](#)を参照してください。

タブを閉じる

アプリケーションページまたはワークスペースを開いておく必要がなくなった場合は、そのページまたはワークスペースに関連付けられているタブを閉じることができます。

タブを閉じるには




- 現在のタブではない単一のタブを閉じるには、閉じたいタブの ([閉じる]) アイコンをクリックします。
- 現在表示されていない単一のタブを閉じるには、 アイコンをクリックしてタブ検索を開いてから、タブ検索に表示されている閉じたいタブの アイコンをクリックします。
- 現在のタブを閉じるには、上記の方法を使用するか、または現在のタブの ([メニュー]) アイコンをクリックして [閉じる] を選択します。

- 現在のタブ以外のすべてのタブを閉じるには、現在のタブで ▾ ([メニュー]) アイコンをクリックして [その他すべてを閉じる] を選択します。

タブが表示されていないページの表示

多数のアプリケーションページおよびワークスペースを開いている場合、開いている一部のページのタブを表示できないことがあります。タブをスクロールするか、またはタブ検索コントロールを使用することで、非表示のタブに関連付けられているアプリケーションページまたはワークスペースを表示できます。

タブが表示されていないページを表示するには

1. タブが、現在表示されているタブの左側にあることがわかっている場合は、左矢印タブ  をクリックしてタブを左方向にスクロールします。表示したいアプリケーションページまたはワークスペースのタブが表示されたら、そのタブをクリックして現在のページにします。
2. タブが、現在表示されているタブの右側にあることがわかっている場合は、右矢印タブ  をクリックしてタブを右方向にスクロールします。表示したいアプリケーションページまたはワークスペースのタブが表示されたら、そのタブをクリックして現在のページにします。
3. タブの場所がわからない場合またはタブをすばやく簡単に見つけたい場合は、タブ検索を使用します。
 - a. タブ検索アイコン  アイコンをクリックします。
 - b. 表示するページをリストから選択します。

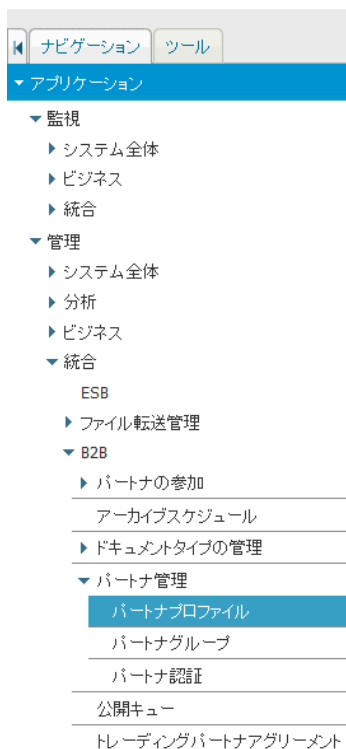
タブの順序の再配置

タブリストでタブを新しい場所にドラッグすることによって、タブを再配置できます。

ナビゲーションパネル

ナビゲーションパネルは、ユーザインタフェースの左側に表示されます。[ナビゲーション] タブと [ツール] タブの 2 つのタブが含まれています。

[ナビゲーション] タブでは、現在コンテンツ領域に表示されているアプリケーションページまたはワークスペースのエントリがハイライトされます。



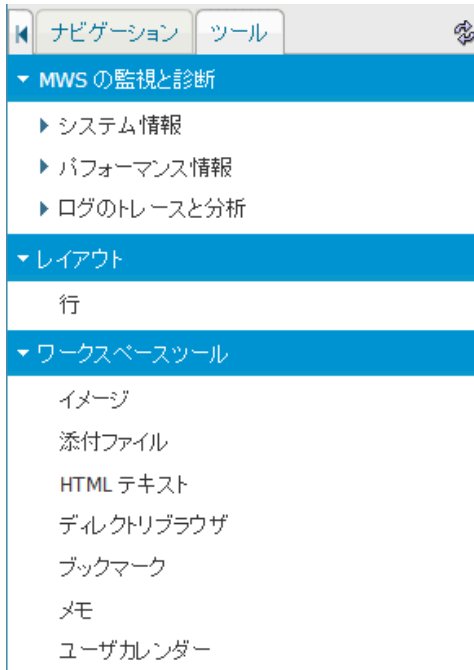
[ナビゲーション] タブには、[アプリケーション] と [ワークスペース] の 2 つのセクションがあります。

[アプリケーション] セクションではアプリケーションページへのアクセスが提供されており、このセクションは [監視] セクションと [管理] セクションの 2 つに分かれています。[監視] セクションには webMethods コンポーネントを監視するためのページがリストされ、[管理] セクションには webMethods コンポーネントを管理できるページがリストされます。

[アプリケーション] セクションの選択項目は、インストールされている webMethods 製品および割り当てられている権限に応じて異なる場合があります。また、My webMethods 管理者はナビゲーションにカスタムのページを追加することができます。[アプリケーション] セクションの詳細については、[20 ページの「\[ナビゲーション\] タブで使用可能なアプリケーションの選択項目」](#)を参照してください。権限の管理およびナビゲーションのカスタマイズの詳細については、『*Administering My webMethods Server*』を参照してください。

[ワークスペース] セクションではワークスペースへのアクセスが提供されます。自分が作成したワークスペースまたは他のユーザが作成して自分と共有しているワークスペースのエントリをナビゲーションに追加できます。ワークスペースの詳細については、[51 ページの「My webMethods の使用」](#)を参照してください。

[ツール] タブには、ユーザがワークスペースに追加できるリソースがリストされます。



[**ツール**] タブにリストされる選択項目は、割り当てられている権限に応じて異なる場合があります。また、My webMethods の開発者はサイト固有のツールを追加することができます。

My webMethods をインストールすることによって、タブの [**ワークスペースツール**] セクションにツールが提供されます。[**ワークスペースツール**] セクションの選択項目の詳細については、[35 ページの「\[ツール\] タブの \[ワークスペースツール\] セクション」](#)を参照してください。権限の管理およびツールのカスタマイズの詳細については、『*Administering My webMethods Server*』を参照してください。

[ナビゲーション] タブで使用可能なアプリケーションの選択項目

My webMethods の [**ナビゲーション**] タブの [**アプリケーション**] セクションに表示される選択項目は、次の両方によって決まります。

- **インストール済みの webMethods コンポーネント**
- **ユーザがアクセスを許可されている機能** 詳細については、『*Administering My webMethods Server*』を参照してください。

ここでは、[**ナビゲーション**] タブで使用可能な [**監視**] および [**管理**] の選択項目をリストし、各選択項目を説明して、ナビゲーションパネルに選択項目を含めるために My webMethods に必要な webMethods コンポーネントを示します。

メモ: インストール済み webMethods コンポーネントのリストを表示するには、[**製品情報**] リンクをクリックします。このリンクはすべての My webMethods ページの上部にある標準リンクの 1 つです。

[ナビゲーション] タブの [監視] セクション

次の表に、[ナビゲーション] タブの [監視] セクションで使用可能なすべての選択項目と、My webMethods がナビゲーションパネルに選択項目を設定する前にインストールする必要がある webMethods コンポーネントを示します。

[監視] の選択項目: [システム全体]

[システム全体] のサブ項目	必要な webMethods コンポーネント
[問題] では、プロセスインスタンスでの問題を特定したり、プロセスインスタンスが違反した KPI ルールに関連する情報を表示します。また、[問題] を使用して、システムコンポーネントが規制に従っていない問題を表示したり、違反したイベントルールおよびしきい値ルールに関する情報を表示することも可能です。	Optimize for Process Optimize for Process 詳細については、『 <i>webMethods Optimize User's Guide</i> 』を参照してください。
[分析の概要] では、すべてのシステムコンポーネントの概要を表示します。このタスクを使用して、システム全体のパフォーマンスを上位レベルで表示します。	Optimize for Infrastructure Optimize for Process 詳細については、『 <i>webMethods Optimize User's Guide</i> 』を参照してください。

[監視] の選択項目: [ビジネス]

[ビジネス] のサブ項目	必要な webMethods コンポーネント
[コラボレーションプロセス] では、コラボレーションタスクの作成時にユーザが開始した現在実行中のコラボレーションプロセスを検索および表示します。	Task Engine 詳細については、『 <i>webMethods Task Engine User's Guide</i> 』を参照してください。
[プロセス分析] では、プロセスのパフォーマンスに関する情報を分析します。	Optimize for Process 詳細については、『 <i>webMethods Optimize User's Guide</i> 』を参照してください。
[ビジネス概要] では、Trading Networks トランザクションデータを監視および分析します。	Optimize for B2B 詳細については、『 <i>webMethods Optimize for B2B User's Guide</i> 』を参照してください。

[ビジネス] のサブ項目	必要な webMethods コンポーネント
<p>[プロセスインスタンス] では、プロセス内のステップについての情報を表示するドリルダウンなど、個別のプロセスインスタンスの詳細を表示します。このリンクにより、プロセスの一時停止や再開も可能です。</p>	<p>Monitor</p> <p>Optimize for Process</p> <p>詳細については、『webMethods Monitor ユーザガイド』または『webMethods Optimize User’s Guide』を参照してください。</p>
<p>[タスク] では、My webMethods のタスクを表示および監視します。この選択項目では、次の項目にナビゲートできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ [受信トレイ] では、ログインユーザに任命されているタスクを表示します。 ■ [タスク一覧の管理] では、実行しているタスクを監視および管理します。タスク一覧を使用して、タスクの一時停止、再開、任命、委任、再サブミットのアクティビティを実行できます。 ■ [タスクチャート] では、基本タスクチャートを表示します。 ■ [タスクタイプ名] では、このタスクタイプの中でログインユーザに任命されているすべてのタスクを含むカスタム受信トレイを表示します (ユーザに任命されているタスクタイプごとにそれぞれ別の [タスクタイプ名] 項目が表示されます)。 	<p>Trading Networks</p> <p>My webMethods Server</p> <p>詳細については、『webMethods Task Engine User’s Guide』を参照してください。</p>
<p>[シックスシグマサマリ] では、プロセスインスタンスのシックスシグマ情報を表示します。</p>	<p>Optimize for Process</p> <p>詳細については、『webMethods Optimize User’s Guide』を参照してください。</p>

[監視] の選択項目: [統合]

[統合] のサブ項目	必要な webMethods コンポーネント
<p>[B2B] では、Trading Networks トランザクションと、トレーディングパートナーとのデータ交換に関連するその他のデータを監視します。Trading Networks 固有の My webMethods ユーザ設定も行えます。</p>	<p>Trading Networks</p> <p>詳細については、『webMethods Trading Networks User’s Guide』を参照してください。</p>

[統合] のサブ項目	必要な webMethods コンポーネント
<ul style="list-style-type: none"> ■ [トランザクション] では、Trading Networks で処理されたドキュメントを追跡および管理します。 ■ [タスク] では、ドキュメントの処理時に Trading Networks によって作成されるデリバリーおよびサービス実行タスクの状態と詳細を表示します。 ■ [アクティビティログ] では、Trading Networks システム内で発生したアクティビティのログエントリを表示します。 ■ [ユーザ設定] では、Trading Networks 固有のユーザ設定を行います。 	
<p>[サービス] では、サービスについて Integration Server で記録されたログデータを表示し、サービスを再サブミットします。</p>	<p>Monitor</p> <p>詳細については、『<i>webMethods Monitor ユーザガイド</i>』を参照してください。</p>
<p>[ドキュメント] では、ログデータベースに記録されたドキュメントを表示および再サブミットします。</p>	<p>Monitor</p> <p>詳細については、『<i>webMethods Monitor ユーザガイド</i>』を参照してください。</p>

[ナビゲーション] タブの [管理] セクション

次の表に、[ナビゲーション] タブの [管理] セクションで使用可能なすべての選択項目と、My webMethods がナビゲーションパネルに選択項目を設定する前にインストールする必要がある webMethods コンポーネントを示します。

[管理] の選択項目: [メッセージング]

[メッセージング] のサブ項目	必要な webMethods コンポーネント
<p>[Broker Server]では、webMethods Broker Server、webMethods Broker、ドキュメントタイプ、クライアントグループおよびクライアントを管理および監視します。</p>	<p>webMethods Broker</p> <p>詳細については、『<i>Administering webMethods Broker</i>』を参照してください。</p>
<p>[Brokerテリトリ] では、テリトリ webMethods Broker およびテリトリゲートウェイを作成および管理します。</p>	

[メッセージング] のサブ項目	必要な webMethods コンポーネント
<p>[Broker クラス] では、クラスタ webMethods Broker およびクラスタゲートウェイを作成および管理します。</p>	
<p>[ネーミングディレクトリ] では、JMS で使用される管理対象オブジェクトを作成および設定します。</p>	
<p>[設定] では、My webMethods での webMethods Broker ユーザインタフェースの操作に関連するパラメータを設定します。</p>	
<p>[ログ] では、webMethods Broker ユーザインタフェースで生成されたエラーおよびアクティビティメッセージを表示します。</p>	

[管理] の選択項目: [システム全体]

[システム全体] のサブ項目	必要な webMethods コンポーネント
<p>[コンテンツ設定] では、使用可能な webMethods Content Service Platform サーバの表示や、これらのサーバのコンテンツリスナーおよびフィルタの作成と管理を行います。</p>	<p>webMethods Content Service Platform</p> <p>詳細については、『<i>Implementing webMethods Content Service Platform for BPM</i>』を参照してください。</p>
<p>[権限の管理] では、ユーザ、グループまたは役割に割り当てたアクセス特権および機能特権を管理します。</p>	<p>My webMethods Server</p> <p>詳細については、『<i>Administering My webMethods Server</i>』を参照してください。</p>
<p>[ユーザ管理] では、ユーザ、グループおよび役割を管理します。この選択項目では、次の項目にナビゲートできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ [役割] では、役割を追加、編集および削除します。 ■ [グループ] では、グループを追加、編集および削除します。 ■ [ユーザ] では、ユーザを追加、編集および削除します。 ■ [認証] では、認証を管理します。 	<p>My webMethods Server</p> <p>詳細については、『<i>Administering My webMethods Server</i>』を参照してください。</p>

[システム全体] のサブ項目	必要な webMethods コンポーネント
<p>[カレンダー管理] では、カレンダーを設定および管理します。この選択項目では、次の項目にナビゲートできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ [ビジネスカレンダー] では、ビジネスカレンダーを追加、編集および削除します。 ■ [ユーザカレンダー] では、ユーザカレンダーを追加、編集および削除します。 	<p>Task Engine</p> <p>詳細については、『<i>webMethods Task Engine User's Guide</i>』を参照してください。</p>
<p>[ワークスペース管理] では、My webMethods 内のすべてのワークスペースを管理および操作します。</p>	<p>My webMethods Server</p> <p>詳細については、『<i>Administering My webMethods Server</i>』を参照してください。</p>
<p>[環境] では、Optimize for Process および Optimize for Infrastructure の環境を設定します。この選択項目では、次の項目にナビゲートできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ [データベースプール設定] では、環境内の webMethods サーバのデータベースプールの共通リストを保守します。 ■ [環境の定義] では、Optimize for Process および Optimize for Infrastructure コンポーネントの環境および共通設定を定義します。 	<p>webMethods Broker</p> <p>Optimize for Infrastructure</p> <p>Optimize for Process</p> <p>My webMethods Server</p> <p>詳細については、『<i>Configuring BAM</i>』を参照してください。</p>
<p>[システム情報] では、以下を実行できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ログを設定し、Analytic Engine、Web Service Data Collector および Prediction Engine に関する情報を表示します。 ■ 共通設定環境の情報を表示します。webMethods 環境のコンポーネントの動作状態と、コンポーネント ID、ホストおよびポート情報を表示できます。 	<p>Optimize for Infrastructure</p> <p>Optimize for Process</p> <p>詳細については、『<i>Administering webMethods Optimize</i>』および『<i>Configuring BAM</i>』を参照してください。</p>
<p>[B2B 権限] では、Trading Networks データおよびアクションへのアクセスを制御する権限を管理します。この選択項目では、次の項目にナビゲートできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ [データ権限] では、データセットを識別し、データセット内の Trading Networks データに対して役割が実行できるアクションを指定します。 	<p>Trading Networks</p> <p>詳細については、『<i>webMethods Trading Networks Administrator's Guide</i>』を参照してください。</p>

[システム全体] のサブ項目	必要な webMethods コンポーネント
<ul style="list-style-type: none"> ■ [一般的な機能権限] では、役割が実行できる Trading Networks アクションを指定します。これらの権限は、データ権限でカバーされない Trading Networks データを管理します。 	
<h2>[管理] の選択項目: [分析]</h2>	
[分析] のサブ項目	必要な webMethods コンポーネント
<p>[ルール] では、KPI、イベントおよびしきい値ルールを管理します。この選択項目では、次の項目にナビゲートできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ [ルールリスト] では、プロセスまたはリソースに問題があり、ユーザの注意が必要な場合に通知するルールを作成します。 ■ [ルールフィルタ] では、データ収集フィルタを編集します。 ■ [ルール監査] では、システム内のルール関連の変更ごとに完全な監査詳細を表示します。 	<p>Optimize for Infrastructure</p> <p>Optimize for Process</p> <p>詳細については、『<i>webMethods Optimize User's Guide</i>』を参照してください。</p>
<p>[KPI] では、KPI (Key Performance Indicator) を設定します。この選択項目では、次の項目にナビゲートできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ [ビジネスデータ] では、ビジネスデータの KPI を設定します。 ■ [システムデータ] では、システムデータの KPI を設定します。 ■ [次元] では、次元を定義します。 ■ [KPI 階層] では、システムコンポーネントの階層および相互依存性を把握できるグラフィカルな階層を表示します。 ■ [インテリジェントリンク] では、My webMethods の内部または外部にある Web ページへの動的リンクを設定し、これらのリンクを適切なページに表示します。 	<p>Optimize for Infrastructure</p> <p>Optimize for Process</p> <p>詳細については、『<i>Administering webMethods Optimize</i>』を参照してください。</p>
<p>[データ管理] では、Optimize アセットを抽出し、Optimize Analysis および Process Tracker データベースコンポーネントからデータを消去し</p>	<p>Optimize for Infrastructure</p> <p>Optimize for Process</p>

[分析] のサブ項目	必要な webMethods コンポーネント
<p>ます。この選択項目では、次の項目にナビゲートできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ [アセット抽出] では、さまざまな Optimize アセット (次元およびイベントマップなど) を抽出してファイルシステムに保存し、後で別の Optimize Analytic Engine に展開します。 ■ [ライブ消去] では、Optimize Analysis および Process Tracker データベースコンポーネントからデータを消去します。 	<p>詳細については、『<i>Administering webMethods Optimize</i>』を参照してください。</p>
<p>[インフラストラクチャコンポーネント] では、Integration Server など、自動的に監視されるシステムのコンポーネントを設定します。</p>	<p>Optimize for Infrastructure Optimize for Process</p> <p>詳細については、『<i>Administering webMethods Optimize</i>』を参照してください。</p>
<p>[予測] では、予測テンプレートを作成します。</p>	<p>Optimize for Process</p> <p>詳細については、『<i>webMethods Optimize User's Guide</i>』を参照してください。</p>
<p>[診断] では、イベントマップ、次元、階層、KPI およびルールの問題をトラブルシュートするための情報を表示します。</p>	<p>Optimize for Infrastructure Optimize for Process</p> <p>詳細については、『<i>webMethods Optimize User's Guide</i>』を参照してください。</p>
<p>[ジョブ管理] では、システムアクティビティを調整する Job Manager のアクティビティを表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ [ジョブ監査] では、Job Manager でスケジュールされているすべてのジョブの概要情報を表示します。 ■ [ジョブキュー] では、Job Manager でスケジュールされているすべてのジョブの状態を表示します。 	<p>Optimize for Infrastructure Optimize for Process</p> <p>詳細については、『<i>Administering webMethods Optimize</i>』を参照してください。</p>

[管理] の選択項目: [ビジネス]

[ビジネス] のサブ項目	必要な webMethods コンポーネント
<p>[webMethodsビジネスルール] では、Software AG Designer のルール開発機能で作成したビジネスルールを動的に更新します。</p>	<p>webMethods Rules Development</p> <p>詳細については、『webMethods BPM Rules Development Help』を参照してください。</p>
<p>[ビジネスプロセス] では、詳細なプロセスモデル情報へのアクセスと変更を行い、Monitor および Optimize for Process を使用して監視するプロセスモデルを識別します。</p>	<p>Monitor</p> <p>Optimize for Process</p> <p>詳細については、『webMethods Monitor ユーザガイド』および『Administering webMethods Optimize』を参照してください。</p>
<p>[ビジネスプロセスダッシュボード] では、プロセスモデルの主要な情報にすばやくアクセスして変更します。たとえば、このダッシュボードが有効になっている場合、存在しているインスタンスの数、実行中のインスタンスの数、失敗したインスタンスの数がわかります。ダイアログボックスを開いて、プロセスモデルの主要な属性を変更するには、プロセスリンクをクリックします。プロセス名の上にカーソルを移動すると、ポップアップのプロセスダイアグラムが表示されます。</p>	<p>Monitor</p> <p>詳細については、『webMethods Monitor ユーザガイド』を参照してください。</p>
<p>[データ管理] では、プロセス監査データベースからログデータをアーカイブおよび削除したり、アーカイブ履歴を表示します。</p>	<p>Monitor</p> <p>詳細については、『webMethods Monitor ユーザガイド』を参照してください。</p>
<p>[タスク] では、My webMethods Server にパブリッシュされたタスクを管理します。ここから、以下の作業を実行できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ タスクの有効化、無効化、削除および開始 ■ コラボレーションタスクの設定 ■ タスク分析接続の設定 ■ タスク電子メールリスナー接続の設定 	<p>Task Engine</p> <p>詳細については、『webMethods Task Engine User's Guide』を参照してください。</p>

[管理] の選択項目: [統合]

[統合] のサブ項目	必要な webMethods コンポーネント
<p>[B2B] では、Trading Networks パートナの管理、Trading Networks データのアーカイブと削除および Trading Networks データのビジネスアクティビティ監視の設定を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ [アーカイブスケジュール] では、Trading Networks データのアーカイブと削除を設定およびスケジュールします。 ■ [パートナプロフィール] では、Trading Networks プロファイルと拡張プロファイルフィールドを追加、編集および削除します。 ■ [パートナグループ] では、Trading Networks パートナグループを追加、編集および削除します。 ■ [パートナ認証] では、期限が切れたかまもなく期限切れになるパートナ認証をクエリーします。 ■ [公開キュー] では、Trading Networks 公開キューを追加、編集および削除します。 ■ [ビジネス監視] では、BAM (ビジネスアクティビティ監視) の TN ドキュメントタイプを設定したり、すべての TN ドキュメントタイプの監視をグローバルに有効化します。 	<p>Trading Networks</p> <p>Optimize for B2B</p> <p>詳細については、『<i>webMethods Trading Networks Administrator’s Guide</i>』および『<i>webMethods Optimize for B2B User’s Guide</i>』を参照してください。</p>
<p>[B2B 設定] では、Trading Networks、Module for EDI および Module for EDIINT を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ [管理環境設定] では、My webMethods Server がやりとりする Trading Networks サーバの指定などの管理設定を行います。 ■ [プロパティの設定] では、Trading Networks、Module for EDI および Module for EDIINT の設定プロパティを指定します。 ■ [ドキュメントのサブミット] では、XML または EDI ドキュメントを Trading Networks にサブミットします。 ■ [制御番号] では、Module for EDI の制御番号を検索、作成および管理します。 	<p>Trading Networks</p> <p>Module for EDI</p> <p>Module for EDIINT</p> <p>詳細については、『<i>webMethods Trading Networks Administrator’s Guide</i>』、『<i>webMethods Module for EDI Installation and User’s Guide</i>』および『<i>webMethods Module for EDIINT Installation and User’s Guide</i>』を参照してください。</p>

[統合] のサブ項目	必要な webMethods コンポーネント
<p>[ESB] では、Integration Server Administrator にアクセスして、Integration Server を管理できるようにします。</p>	<p>Integration Server</p> <p>詳細については、『<i>webMethods Integration Server 管理者ガイド</i>』を参照してください。</p>

[管理] の選択項目: [My webMethods]

My webMethods のサブ項目	必要な webMethods コンポーネント
<p>[システムの設定内容] では、Integration Server、Analytic Engine および Task Engine との通信に My webMethods が使用するホスト名およびポート番号を変更します。</p>	<p>Monitor</p> <p>Optimize for Infrastructure</p> <p>Optimize for Process</p> <p>Task Engine</p> <p>詳細については、『<i>webMethods Monitor ユーザガイド</i>』、『<i>Administering webMethods Optimize</i>』、および『<i>webMethods Task Engine User's Guide</i>』を参照してください。</p>
<p>[ディレクトリサービス] では、My webMethods で使用する外部ディレクトリサービスを設定します。</p>	<p>My webMethods Server</p> <p>詳細については、『<i>Administering My webMethods Server</i>』を参照してください。</p>
<p>[電子メールサーバ] では、電子メールメッセージの処理時に My webMethods Server で使用されるメールサーバを設定します。</p>	<p>My webMethods Server</p> <p>詳細については、『<i>Administering My webMethods Server</i>』を参照してください。</p>
<p>[クラスタ設定] では、クラスタ環境で My webMethods へのアクセスに使用する URL を定義したり、My webMethods Server クラスタノードのさまざまな役割を設定します。</p>	<p>My webMethods Server</p> <p>詳細については、『<i>Administering My webMethods Server</i>』を参照してください。</p>
<p>[データソース] では、データベースなどの外部データソースに接続したり、それらを My webMethods Server で使用できるようにします。</p>	<p>My webMethods Server</p> <p>詳細については、『<i>Administering My webMethods Server</i>』を参照してください。</p>

[ナビゲーション] タブのワークスペースの選択項目

[ナビゲーション] タブの [ワークスペース] セクションではワークスペースへのアクセスが提供されます。ここには 2 つのセクションがあります。

- [最近の追加分] 最近追加して保存したワークスペースがリストされます。
- [マイワークスペース] ユーザがナビゲーションに追加したワークスペースがリストされます。自分が作成したワークスペースまたは別のユーザが作成して自分と共有しているワークスペースのいずれかになります。詳細については、[61 ページの「ナビゲーションパネルへのワークスペースの追加について」](#)を参照してください。

[ツール] タブのツールの選択項目

[ツール] タブにリストされる選択項目は、割り当てられている権限に応じて異なる場合があります。

ツールを使用するには、ツールをワークスペースにドラッグします。この操作に応じて、My webMethods はツール用のポートレットウィンドウをワークスペースに追加します。ワークスペースでのツールの使用の詳細については、[75 ページの「ワークスペースを拡張するツールの使用」](#) および『*Diagnosing My webMethods Server*』を参照してください。

[ツール] タブの [レイアウト] セクション

My webMethods をインストールすることによって提供されるレイアウト管理用のツールが、タブの [レイアウト] セクションに表示されます。

使用可能なツールについて簡単に説明します。

ツール	使用目的
行	ワークスペースに行を追加します。詳細については、 <i>Administering My webMethods Server</i> を参照してください。

[ツール] タブの [MWS の監視と診断] セクション

My webMethods をインストールすることによって提供される監視および診断用のツールが、タブの [MWS の監視と診断] セクションに表示されます。

次の表に、各ツールの簡単な説明を示します。

[MWS の監視と診断] セクション: [ログのトレースと分析]

[ログのトレースと分析] サブ項目	必要な webMethods コンポーネント
[ログ分析データソース] では、My webMethods Server 内で作成されたログファイルの読み取りおよび分析を行います。	My webMethods Server 詳細については、『 <i>Diagnosing My webMethods Server</i> 』を参照してください。
[ログ分析期間] では、My webMethods Server 内でログファイルを作成する期間を設定します。	My webMethods Server 詳細については、『 <i>Diagnosing My webMethods Server</i> 』を参照してください。
[ログ設定] では、ログメッセージの収集条件を設定します。	My webMethods Server 詳細については、『 <i>Diagnosing My webMethods Server</i> 』を参照してください。
[ログ - 重大度別エラー] では、WARNING、ERROR または FATAL の各重大度のログを分析および表示します。	My webMethods Server 詳細については、『 <i>Diagnosing My webMethods Server</i> 』を参照してください。
[ログ - 致命的な問題] では、重大度が FATAL のログのみを分析および表示します。	My webMethods Server 詳細については、『 <i>Diagnosing My webMethods Server</i> 』を参照してください。
[ログ - 問題] では、WARNING、ERROR または FATAL の各重大度のログを分析および表示します。	My webMethods Server 詳細については、『 <i>Diagnosing My webMethods Server</i> 』を参照してください。
[ログ - 問題 - コンポーネント別] では、ログが記録されているコンポーネントごとに、ログを分析および表示します。	My webMethods Server 詳細については、『 <i>Diagnosing My webMethods Server</i> 』を参照してください。
[ログ - 問題 - 製品別] では、ログが記録されている製品ごとに、ログを分析および表示します。	My webMethods Server

[ログのトレースと分析] サブ項目	必要な webMethods コンポーネント
	<p>詳細については、『<i>Diagnosing My webMethods Server</i>』を参照してください。</p>
<p>[ログビューア] では、My webMethods Server のプレーンテキストログファイル内の最新メッセージを表示します。</p>	<p>My webMethods Server</p> <p>詳細については、『<i>Diagnosing My webMethods Server</i>』を参照してください。</p>
<p>[最も使用されているポートレット] では、My webMethods Server で最も使用されている 10 個のポートレットに関する統計情報を表示します。</p>	<p>My webMethods Server</p> <p>詳細については、『<i>Diagnosing My webMethods Server</i>』を参照してください。</p>
<p>[最も使用されている Web サービス] では、My webMethods Server で最も使用されている 10 個の Web サービスに関する統計情報を表示します。</p>	<p>My webMethods Server</p> <p>詳細については、『<i>Diagnosing My webMethods Server</i>』を参照してください。</p>
<p>[SOAP トラフィックの監視] では、他のポートレットからの Web サービス呼び出しで発生している問題をデバッグします。</p>	<p>My webMethods Server</p> <p>詳細については、『<i>My webMethods Server Portlet Reference</i>』を参照してください。</p>

[MWS の監視と診断] セクション: [パフォーマンス情報]

[パフォーマンス情報] サブ項目	必要な webMethods コンポーネント
<p>[パフォーマンス分析] では、My webMethods Server サービスおよびカスタムのポートレットやアプリケーションのパフォーマンスを測定および分析します。</p>	<p>My webMethods Server</p> <p>詳細については、『<i>Diagnosing My webMethods Server</i>』を参照してください。</p>
<p>[パフォーマンス統計] では、カテゴリ別にグループ化されたさまざまな My webMethods Server アクションのパフォーマンスに関する統計および分析情報を表示します。</p>	<p>My webMethods Server</p> <p>詳細については、『<i>Diagnosing My webMethods Server</i>』を参照してください。</p>

[パフォーマンス情報] サブ項目	必要な webMethods コンポーネント
[遅いデータベース呼び出し] では、My webMethods Server で最も遅い 10 個のデータベース呼び出しに関する情報を表示します。	My webMethods Server 詳細については、『 <i>Diagnosing My webMethods Server</i> 』を参照してください。
[遅いポートレット] では、My webMethods Server で最も遅い 10 個のポートレットに関するパフォーマンス情報を表示します。	My webMethods Server 詳細については、『 <i>Diagnosing My webMethods Server</i> 』を参照してください。
[遅い Web サービス] では、My webMethods Server で最も遅い 10 個の Web サービスに関するパフォーマンス情報を表示します。	My webMethods Server 詳細については、『 <i>Diagnosing My webMethods Server</i> 』を参照してください。

[MWS の監視と診断] セクション: [システム情報]

[システム情報] サブ項目	必要な webMethods コンポーネント
[メモリの監視] では、Java 仮想マシン (JVM) のメモリ使用量を監視したり、設定したしきい値に達した場合に管理者に通知を送信します。	My webMethods Server 詳細については、『 <i>My webMethods Server Portlet Reference</i> 』を参照してください。
<p>[概要] では、次のタブでサーバ情報を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ [システムプロパティ] ■ [要求プロパティ] ■ [セッション属性] ■ [アプリケーション属性] 	My webMethods Server
[スレッドダンプ] では、My webMethods Server スレッドでのスレッド実行デッドロックを監視します。	My webMethods Server 詳細については、『 <i>Diagnosing My webMethods Server</i> 』を参照してください。
[ワークスペースコンテキストビューア] では、現在表示しているワークスペースページを対象として、コ	My webMethods Server

[システム情報] サブ項目**必要な webMethods コンポーネント**

テキスト情報の表示、追加、変更、削除を行います。

[ツール] タブの [ワークスペースツール] セクション

My webMethods をインストールすることによって提供されるワークスペース管理用のツールが、タブの [ワークスペースツール] セクションに表示されます。

次の表に、各ツールの簡単な説明を示します。

ツール	使用目的
[添付ファイル]	ワークスペースにファイルを添付します。詳細については、 78 ページの「添付ファイルツール」 を参照してください。
[ブックマーク]	外部 Web サイトへのリンクおよび他のワークスペースへのリンクのリストを追加します。詳細については、 81 ページの「ブックマークツール」 を参照してください。
[ディレクトリブラウザ]	検索ウィンドウをワークスペースに追加して、他の My webMethods ユーザの識別情報を検索できるようにします。詳細については、 84 ページの「ディレクトリブラウザツール」 を参照してください。
[HTML テキスト]	書式設定されたテキストをワークスペースに追加します。詳細については、 85 ページの「HTML テキストツール」 を参照してください。
[イメージ]	イメージをワークスペースに追加します。詳細については、 86 ページの「イメージツール」 を参照してください。
[メモ]	簡単なメモをワークスペースに追加します。詳細については、 88 ページの「メモツール」 を参照してください。
[ユーザカレンダー]	ユーザのカレンダーをワークスペースに追加して、ユーザの可用性を確認できるようにします。詳細については、 89 ページの「ユーザカレンダーツール」 を参照してください。

メモ: My webMethods 開発者が追加したツールが表示される場合があります。システム管理者または開発者に問い合わせ、サイト固有のツールに関する情報を確認してください。

アプリケーションページのフォーマット

次に、一般的なアプリケーションページのフォーマットを示します。



ページの
タイトル

My webMethodsアプリケーションページのタイトルが一番上に表示されます。

ナビゲーションパネルから選択項目内のサブページに移動した場合は、ナビゲーションパネルの選択項目のタイトルと現在のページのタイトルが、メインページ> サブページの形式で表示されます。

ページコ
ンテンツ

ページコンテンツのフォーマットは、ページに表示されている webMethods コンポーネントによって決まります。多数のページで、以下の検索に同様の検索パネルを使用します。

- ユーザ、グループおよび役割。詳細については、[91 ページの「ユーザ、グループおよび役割の検索」](#)を参照してください。
- データ。詳細については、[次を参照してください。95 ページの「データの検索」](#)

ワークスペースページのフォーマット

次に、ワークスペースのフォーマットを示します。



変更が保存されていないことを示すインジケータ

ワークスペースの変更をまだ保存していない場合には、タブのワークスペース名の前にアスタリスク (*) が表示されます。

ワークスペースのタイトル

My webMethodsワークスペースの名前が一番上に表示されます。

ページコンテンツ

ワークスペースの所有者およびワークスペースへの寄稿者によって、ワークスペースのコンテンツが決定されます。アプリケーションページからのウィンドウの追加、他のワークスペースからのウィンドウの追加およびワークスペースへのツールの追加を行うことができます。詳細については、[51 ページの「My webMethods の使用」](#) および [65 ページの「ワークスペースコンテンツの使用」](#) を参照してください。

3 webMethods プロファイルの表示および更新

■ My webMethods プロファイル	40
■ My webMethods でのユーザの識別	40
■ ユーザ設定の設定	42
■ カレンダー	45

My webMethods プロファイル

My webMethods の各ユーザプロファイルは、システムで管理されます。各ユーザのプロファイルには [**マイプロフィール**] 標準リンクからアクセスします。次の表では、プロファイルから更新できる設定をリストします。

設定項目	参照先
My webMethods パスワード	11 ページの「パスワードの変更」
識別とロケール	40 ページの「My webMethods でのユーザの識別」
ログイン時に表示するページ	42 ページの「ユーザ設定の設定」
表示する検索結果の数	105 ページの「ページごとに表示する検索結果の行数の定義」
アクションの完了前 (ワークスペースを削除する前など) に確認メッセージを表示するかどうか	42 ページの「ユーザ設定の設定」
ビジネスカレンダーとユーザカレンダー	45 ページの「カレンダー」

My webMethods でのユーザの識別

識別情報は、プロファイルの [**ユーザ情報**] タブおよび [**ユーザプロファイル**] タブにリストされます。

- [**ユーザ情報**] タブ名前と電子メールアドレスは [**ユーザ情報**] タブにあります。

メモ: ユーザアカウントが My webMethods (「システム」ディレクトリサービス) で定義されている場合にのみ、[**ユーザ情報**] タブのフィールドを更新できます。ユーザアカウントが外部のディレクトリ管理システム (たとえば、LDAP) で定義されている場合、My webMethods は、これらのフィールドに対して外部のディレクトリ管理サービスから値を取得します。

- [**ユーザプロファイル**] タブオプション情報を提供する複数のフィールドがあり、ユーザの識別情報を入力できます。

My webMethods でユーザを識別するには

1. すべての My webMethods ページの上部にある [**マイプロフィール**] リンクをクリックします。
2. [**ユーザ情報**] タブをクリックします。

- a. [名] フィールドと [姓] フィールドを使用して、名前を指定します。
- b. オプションで、[電子メールアドレス] フィールドに電子メールアドレスを入力します。

メモ: 電子メールアドレスを指定しない場合、My webMethods は通知を送信できません。たとえば、フォーラムをサブスクライブしている場合、電子メールアドレスを指定しないと、My webMethods は更新の通知を送信できません。

3. [ユーザプロフィール] タブをクリックします。
4. 次のオプション情報を指定します。

フィールド	指定する値
[ミドルネーム]	ミドルネーム。
[敬称]	Mr.、Mrs.、Ms. などの敬称。使用したい敬称がリストに表示されていない場合は、[その他] を選択します。My webMethods によって、使用する敬称の入力を求められます。
[名前サフィックス]	名前の後に表示されるサフィックス (使用する場合)、たとえば、Jr.、Sr.、PhD、III。使用するサフィックスがリストに表示されていない場合は、[その他] を選択します。My webMethods によって、使用するサフィックスの入力を求められます。
[優先する言語/ロケール]	言語およびロケール。[デフォルト] を選択した場合、My webMethods サーバにインストールされた言語が使用されます。
[国/地域 ID]	居住国。
[住所 1]	住所。
[住所 2]	
[市町村]	居住する市町村。
[都道府県]	居住する都道府県。
[郵便番号]	郵便番号。たとえば、米国に居住している場合は、ZIP Code です。
[国/地域 ID]	居住国。
[電話 1: 市外局番]	市外局番。
[電話 1: 番号]	電話番号。

フィールド	指定する値
[電話 1: 内線]	内線番号 (使用する場合)。
[電話 1: 国番号]	電話番号に関連付けられた国番号。
[デフォルトの日付形式]	日付を表示するときに My webMethods で使用する日付形式。日付形式の詳細については、Oracle Java API マニュアルの SimpleDateFormat クラスを参照してください。
[デフォルトの時間形式]	時間を表示するときに My webMethods で使用する時間形式。日付形式の詳細については、Oracle Java API マニュアルの SimpleDateFormat クラスを参照してください。
[デフォルトのタイムゾーン]	時間を表示するときに My webMethods で使用するタイムゾーン。 重要: [デフォルトのタイムゾーン] フィールドでタイムゾーンを変更すると、前に使用していたページに戻ったときに、検索結果、並べ替え、詳細などのトランザクションコンテキストが失われる場合があります。トランザクションコンテキストに影響を与えずにタイムゾーンを変更する方法の詳細については、49 ページの「My webMethods のタイムゾーンの設定」を参照してください。
[デフォルトの数値形式]	数値を表示するときに My webMethods で使用する形式。数値形式の詳細については、Oracle Java API マニュアルの DecimalFormat クラスを参照してください。
[デフォルトの通貨形式]	通貨を表示するときに My webMethods で使用する形式。通貨形式の詳細については、Oracle Java API マニュアルの DecimalFormat クラスを参照してください。

メモ: [デフォルトの日付形式]、[デフォルトの時間形式]、[デフォルトのタイムゾーン]、[デフォルトの数値形式]、[デフォルトの通貨形式] で指定したデフォルトがすべてのポートレットで使用されるとは限りません。

- [保存] をクリックします。
- プロファイルの更新を完了したら、[マイプロフィール] タブを閉じます。手順については、[17 ページの「タブを閉じる」](#)を参照してください。

ユーザ設定の設定

[ユーザ設定] タブには、My webMethods との対話のために設定できるその他の My webMethods の設定が含まれています。ここでは、My webMethods をインストールすることによって提供される設定を行う方法について説明します。これらの設定の詳細については、[44 ページの「My webMethods ユーザ設](#)

定」を参照してください。My webMethods の管理者は、設定の削除や追加を行うことができます。このため、設定内容が異なる場合があります。

ユーザ設定を行うには

1. すべての My webMethods ページの上部にある [**マイプロフィール**] リンクをクリックします。
2. [**ユーザ設定**] タブをクリックします。
3. My webMethods にログインするときに表示するアプリケーションページ、ワークスペースまたはタブを指定するには、以下のいずれかを行います。
 - 表示するアプリケーションページを指定するには
 - i. [**スタートページ**] フィールドで、[**アプリケーションページ**] をクリックします。
 - ii. [**名前**] 列でリンクをクリックして、表示するページに移動します。
 - iii. 表示するページがリストにある場合、そのページを選択します。
 - iv. [**適用**] をクリックします。
 - v. [**保存**] をクリックします。
 - 表示するワークスペースを指定するには
 - i. [**スタートページ**] フィールドで、[**ワークスペース**] をクリックします。
 - ii. 検索フィールドを使用して、表示するワークスペースを検索し、[**検索**] をクリックします。
 - iii. 検索結果から、表示するワークスペースを選択します。
 - iv. [**OK**] をクリックします。
 - v. [**保存**] をクリックします。
 - ログイン時に、直前のセッションでアクティブになっていたタブを表示するように指定するには
 - i. [**スタートページ**] フィールドで、[**消去**] をクリックします。
 - ii. [**ログイン時に最後にアクティブだったタブを開く**] チェックボックスをオンにします。
 - iii. [**保存**] をクリックします。
4. アクションを確認するプロンプトを表示するかどうかを指定するには、以下の手順に従います。
 - a. ワークスペースの削除を確認するプロンプトを表示する場合は、[**ワークスペースの削除時に確認を表示**] チェックボックスをオンにします。確認なしでワークスペースをすぐに削除する場合は、チェックボックスをオフにします。
 - b. ワークスペースからのウィンドウの削除を確認するプロンプトを表示する場合は、[**ウィンドウの削除時に確認を表示**] チェックボックスをオンにします。確認なしでウィンドウをすぐに削除する場合は、チェックボックスをオフにします。
 - c. 現在のタブを除くすべてのタブを閉じる要求を確認するプロンプトを表示する場合は、[**すべてのタブを閉じるときに確認を表示**] チェックボックスをオンにします。確認なしでタブをすぐに閉じる場合は、チェックボックスをオフにします。
 - d. [**保存**] をクリックします。

5. 検索結果など、アイテムを行に一覧表示するウィンドウに表示するデフォルトの行数を指定するには、**[1 ページのアイテム数]** フィールドで以下のいずれかを選択し、**[保存]** をクリックします。
 - 1 ページに表示するアイテムの件数を My webMethods 依存にする場合は、**[デフォルト]**
 - 1 ページに表示するアイテムの件数を示す数字
 - すべてのアイテムを 1 ページに表示する場合は、**[すべて表示]**
6. 別のワークスペースまたはアプリケーションページを表示するように選択したときに、ワークスペースへの変更を自動的に保存する場合は、**[別のワークスペースに移動するときに自動的に保存]** チェックボックスをオンにします。別のワークスペースまたはアプリケーションページを表示する前に、変更の保存を確認するプロンプトを表示する場合は、このチェックボックスをオフにします。
7. 非同期リフレッシュではなくフルページリフレッシュを実行する場合は、**[可能な場合はフルページリフレッシュをバイパスする]** チェックボックスをオンにします。
8. プロファイルの更新を完了したら、**[マイプロフィール]** タブを閉じます。手順については、[17 ページの「タブを閉じる」](#)を参照してください。

My webMethods ユーザ設定

次の表は、My webMethods をインストールすることによって提供される設定の一覧を示しています。これらを設定する方法の詳細については、[42 ページの「ユーザ設定の設定」](#)を参照してください。

設定	説明
[スタートページ]	<p>My webMethods に最初にログインしたときに表示するアプリケーションページまたはワークスペースを指定します。この設定は、[ログイン時に最後にアクティブだったタブを開く] 設定よりも優先されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ [スタートページ] を設定すると、ログイン時に、[スタートページ] 設定で指定したページが表示されます。この設定は、[ログイン時に最後にアクティブだったタブを開く] 設定よりも優先されます。 ■ [スタートページ] が設定されておらず、[ログイン時に最後にアクティブだったタブを開く] が設定されている場合は、ログイン時に直前のセッションでアクティブになっていたタブが表示されます。 ■ [スタートページ] と [ログイン時に最後にアクティブだったタブを開く] のいずれも設定されていない場合は、ログイン時に新規タブに空白のワークスペースが表示されます。
[ログイン時に最後にアクティブだったタブを開く]	<p>ログイン時に直前のセッションでアクティブになっていたタブを表示するかどうかを指定します。[スタートページ] 設定は、この設定よりも優先されます。これら 2 つの設定がどのように連携するかの詳細については、[スタートページ] 設定の説明を参照してください。</p>

設定	説明
[1 ページのアイテム数]	検索結果など、表示するデフォルトの行数を指定します。
[ワークスペースの削除時に確認を表示]	この設定では、ワークスペースを削除するときにアクションを確認するプロンプトを表示するかどうかを指定します。このチェックボックスがオフの場合、ワークスペースを削除すると、確認を求めずにすぐにワークスペースが削除されます。
[ウィンドウの削除時に確認を表示]	この設定では、ワークスペースからウィンドウを削除するときに、My webMethods からアクションの確認を要求するメッセージが表示されるかどうかを示します。このチェックボックスをオフにした場合、ワークスペースからウィンドウを削除するとすぐに、My webMethods によって確認要求なしでウィンドウが削除されます。
[すべてのタブを閉じるときに確認を表示]	この設定では、現在のタブを除くすべてのタブを閉じることを要求したときに、アクションを確認するプロンプトを表示するかどうかを指定します。このチェックボックスがオフの場合、すべてのタブを閉じることを要求すると、確認を求めずにすぐにタブが閉じます。
[別のワークスペースに移動するときに自動的に保存]	この設定では、変更を加えたがまだ保存していないワークスペースを表示中に、別のワークスペースまたはアプリケーションページを表示するタブをクリックしたときに、選択したワークスペースまたはアプリケーションページを表示する前に、現在のワークスペースへの変更を自動的に保存するかどうかを指定します。このチェックボックスがオフになっている場合、選択したワークスペースまたはアプリケーションページを表示する前に変更を保存するかどうかを確認するプロンプトが表示されます。
[可能な場合はフルページリフレッシュをバイパスする]	ページを変更してその変更を適用すると、My webMethods は変更したページ部分のみを非同期にリフレッシュします。このチェックボックスをオフにすると、My webMethods はフルページをリフレッシュします。

カレンダー

My webMethods プロファイルには、タスクの定義および動作のために Task Engine が使用するカレンダー情報が含まれています。

ビジネスカレンダーとユーザカレンダーという 2 種類のカレンダーがあります。

- **ビジネスカレンダー**では、組織の標準の営業日時を定義します。これには、休日、週末、およびビジネスを行わないその他の日時が含まれます。管理者がビジネスカレンダーを設定します。たとえば、管理者

は、通常の営業時間（月曜日から金曜日、東部標準時午前 8 時から午後 5 時）のビジネスカレンダーを設定できます。

管理者は、複数のビジネスカレンダーを設定できます。たとえば、組織に異なる勤務時間がある場合、管理者は勤務時間ごとにビジネスカレンダーを設定できます。複数のビジネスカレンダーが必要な別の理由として、組織が複数のタイムゾーンにまたがっている場合があります。管理者はタイムゾーンごとにビジネスカレンダーを設定できます。

管理者がビジネスカレンダーを設定したら、My webMethods プロファイルで、勤務時間に最も適したビジネスカレンダーを選択します。その選択に応じて、Task Engine で営業時間およびスケジュールタスクが決定されます。手順については、[46 ページの「ビジネスカレンダーの定義」](#)を参照してください。

- **ユーザカレンダー**は、サードパーティアプリケーションが管理するカレンダーです（たとえば、Microsoft Outlook カレンダーや Lotus Notes カレンダー）。管理者は My webMethods Server を設定して、ユーザカレンダーにアクセスできるようにする必要があります。サードパーティアプリケーションでカレンダーを管理し、勤務状況を定義します。これにより、Task Engine は、タスクをスケジュール化するときにユーザ個別の勤務状況を判断できます。また、My webMethods で読み取り専用バージョンのカレンダーを表示できます。手順については、[46 ページの「パーソナルユーザカレンダーの表示」](#)を参照してください。

メモ: 管理者がユーザカレンダーの使用を設定する場合、ワークスペース内でユーザカレンダーツールを使用して、ワークスペースにユーザカレンダーを追加することによってユーザの勤務状況または他の My webMethods ユーザの勤務状況を表示することもできます。詳細については、[89 ページの「ユーザカレンダーツール」](#)を参照してください。

ビジネスカレンダーの定義

プロファイルの **[カレンダー]** タブで、ユーザアカウントに使用するビジネスカレンダーを定義できます。デフォルトでは、My webMethods は管理者が作成したデフォルトのカレンダーを使用します。

メモ: 管理者が既にビジネスカレンダーを作成している場合は、自分のユーザアカウント用のビジネスカレンダーのみを選択できます。

ビジネスカレンダーを定義するには

1. すべての My webMethods ページの上部にある **[マイプロフィール]** リンクをクリックします。
2. **[カレンダー]** タブをクリックします。
3. **[ユーザビジネスカレンダー]** パネルの **[ビジネスカレンダー]** リストで、ユーザアカウントで使用するカレンダーを選択します。
4. **[保存]** をクリックします。

パーソナルユーザカレンダーの表示

プロファイルの **[カレンダー]** タブで、ユーザカレンダーを表示できます。そこにはユーザの勤務状況が表示されます。ユーザカレンダーには、サードパーティアプリケーション（Microsoft Outlook や Lotus Notes など）で管理しているカレンダーが表示されます。

メモ: My webMethods Server がサードパーティアプリケーションからユーザカレンダーにアクセスするように管理者が既に設定している場合は、パーソナルユーザカレンダーのみを表示できます。

ユーザカレンダーを表示するには

1. すべての My webMethods ページの上部にある [**マイプロフィール**] リンクをクリックします。
2. [**カレンダー**] タブをクリックします。

My webMethods [**ユーザパーソナルカレンダー**] パネルにユーザカレンダーが表示されます。My webMethods Server がユーザカレンダーにアクセスするように管理者が設定しなかった場合、ユーザカレンダーを使用できないことを示すメッセージが表示されます。



4 My webMethods のタイムゾーンの設定

■ My webMethods のタイムゾーンの変更	50
----------------------------------	----

My webMethods のタイムゾーンの変更

デフォルトでは、My webMethods Server にはブラウザのロケールに基づいたローカルタイムゾーンの時刻が表示されます。My webMethods でプロフィールのデフォルトのタイムゾーンを変更できませんが、その場合、前に使用していたページに戻ったときに、検索結果、並べ替え、詳細などのトランザクションコンテキストが失われる場合があります。

トランザクションコンテキストを失うことなく My webMethods のページのタイムゾーンを変更するには、次の手順を使用します。

My webMethods のタイムゾーンを変更するには

1. My webMethods の任意のページの左下で、[タイムゾーン] の隣にある [time zone] リンクをクリックします。
2. [タイムゾーンの選択] ダイアログボックスの [タイムゾーン] フィールドで、ドロップダウンリストからタイムゾーンを選択します。
3. [適用] をクリックします。

My webMethods ページは既存のデータを表示して自動的に更新しますが、ページの時刻は、新しいタイムゾーンを反映して更新されます。たとえば、受信トレイのタスクを検索して [受信トレイ] ページでタイムゾーンを変更すると、タスクに関連付けられている日付は新しいタイムゾーンを反映して更新されます。

5 My webMethods の使用

■ ワークスペースについて	52
■ 新しいワークスペースの作成について	52
■ ワークスペースのレイアウトの定義	53
■ ワークスペースを開く	54
■ ワークスペースプロパティ	55
■ ワークスペースの全般プロパティの設定	56
■ ワークスペースの名前変更	57
■ ワークスペースの共有	57
■ ワークスペースを閉じる	61
■ ワークスペースの削除	61
■ ナビゲーションパネルへのワークスペースの追加について	61

ワークスペースについて

ワークスペースとは、必要なコンテンツを追加するページのことです。以下のものを追加できます。

- **ツール** My webMethods で提供されるツールで、ファイルをワークスペースに添付できる添付ファイルツールなどがあります。My webMethods で提供されるツールの詳細については、[75 ページの「ワークスペースを拡張するツールの使用」](#)を参照してください。
- **カスタムツール** サイトの開発者が作成し、My webMethods に追加します。
- **アプリケーションページのウィンドウ** My webMethods を使用するとき、ユーザインタフェースを介して移動し、必要な情報や興味のある情報を表示します。My webMethods では、ポートレットウィンドウを使用してユーザインタフェースに情報が表示されます。重要な情報または頻繁に使用する情報が見つかった場合は、ワークスペースにそれらの情報を追加できます。追加したウィンドウでは、ワークスペースにウィンドウを表示するときそのコンテキストが維持されます。たとえば、注文サイクル時間をワークスペースに表示するモニタを追加すると、ワークスペースを表示したときに、ウィンドウには注文サイクル専用のモニタが表示されます。
- **その他のワークスペースのウィンドウ** ワークスペースを表示しているときに、あるワークスペースのウィンドウを別のワークスペースにコピーする場合、そのウィンドウをコピーできます。

ワークスペース内のコンテンツの管理の詳細については、[65 ページの「ワークスペースコンテンツの使用」](#)を参照してください。

ワークスペースは必要に応じていくつでも作成できます。ワークスペースを他のユーザと共有したり、他のユーザと共有しているワークスペースを使用したりできます。ワークスペースを共有している場合、所有者は、ユーザがそのワークスペースに対して実行できるアクションを定義する権限を設定します。たとえば、ワークスペースの 1 つを共有するときに、ユーザに対してコンテンツの表示のみを許可し、変更は許可しないように設定できます。ワークスペースの共有の詳細については、[57 ページの「ワークスペースの共有」](#)を参照してください。

ワークスペースを使用して関連情報をグループ化します。ワークスペースの使用例は以下のとおりです。

- **情報とツールのグループ化** 1 つの場所で情報とツールを頻繁に使用する場合に使用します。たとえば、複数のプロジェクトに関与している場合には、プロジェクトごとに別々のワークスペースを作成できます。
- **問題のトラブルシューティング** 問題に関連する情報をワークスペースに追加できます。問題に関連する他のユーザとワークスペースを共有する必要がある場合があります。ツール (ディスカッショントピックツールなど) を追加して、他のユーザと問題についてディスカッションできます。
- **タスクに必要な作業の整理** たとえば、My webMethods でタスク受信トレイを表示して特定のタスクを検索できます。ワークスペースに検索結果を追加できます。その後、アプリケーションページから、タスクを完了するのに必要なツールまたはウィンドウを追加できます。

新しいワークスペースの作成について

新しいワークスペースを作成する場合、以下のいずれかを作成できます。

- 空のワークスペース

■ 既存のワークスペースのコピーであるワークスペース

既存のワークスペースをコピーするには、「名前を付けて保存」機能を使用して、既存のワークスペースを新しい名前で保存します。新しいワークスペースおよび元のワークスペースを変更しても、My webMethods では変更は同期されません。2 つのワークスペースは別個のものです。

新しい空のワークスペースの作成

新しい空のワークスペースを作成するには

1. コンテンツ領域の上に最後の表示タブとして常に表示されている [新規] タブをクリックします。
空のワークスペースがデフォルト名で表示されます。名前を変更するには、[57 ページの「ワークスペースの名前変更」](#)を参照してください。
2. 新しいワークスペースのタブで ▼ ([メニュー]) アイコンをクリックし、[ワークスペースの保存] を選択します。

「名前を付けて保存」を使用した新しいワークスペースの作成

既存のワークスペースのコピーで新しいワークスペースを作成するには

1. 新しいワークスペースの基礎として使用するワークスペースを開きます。手順については、[54 ページの「ワークスペースを開く」](#)を参照してください。
2. ワークスペースのタブで ▼ ([メニュー]) アイコンをクリックし、[名前を付けて保存] を選択します。
3. [新規ワークスペース名] フィールドの [ワークスペースを名前を付けて保存] ウィンドウに、新しいワークスペースに使用する名前を入力します。
4. [OK] をクリックします。

ワークスペースのレイアウトの定義

ワークスペース内でのウィンドウの配置方法を定義するには、ワークスペースレイアウトを定義します。レイアウトには、以下の 2 つのタイプがあります。

- **列レイアウト**このレイアウトでは、ワークスペースのすべてのウィンドウが列に配置されます。列内でウィンドウを重ね合わせることはできません。ワークスペースに定義できる列は 1~4 です。
- **フリーフォームレイアウト**このレイアウトでは、ワークスペースの任意の場所にウィンドウを配置できます。ウィンドウを部分的に重ね合わせたり、互いに完全に重ねたりすることもできます。これは新規ワークスペースのデフォルトです。

ワークスペースへのウィンドウの追加の詳細については、以下のページを参照してください。

- [66 ページの「ワークスペースへのツールの追加」](#)
- [66 ページの「アプリケーションページからワークスペースへのウィンドウの追加」](#)
- [68 ページの「ワークスペース間でのウィンドウの追加」](#)

ワークスペース内のウィンドウの配置方法の詳細については、[73 ページの「ワークスペースでのウィンドウの配置」](#)を参照してください。

メモ: ワークスペースのレイアウトを定義または更新するには、ワークスペースの所有者であるか、または別のユーザの共有ワークスペースを使用している場合には、そのワークスペースに対して「表示および変更」権限または「フルコントロール」権限を持っている必要があります。ワークスペースに対して「表示のみ」権限を持っている場合は、レイアウトを変更できますが、その変更を保存できません。このため、ワークスペースを終了すると、レイアウトは前の状態に戻ります。ワークスペースの共有の詳細については、[59 ページの「ワークスペースの共有」](#)を参照してください。

ワークスペースのレイアウトを定義するには

1. ワークスペースのタブで ▼ ([メニュー]) アイコンをクリックし、[ワークスペースプロパティ] を選択します。
2. [レイアウト] タブを選択します。
3. [列] リストから、ワークスペースに使用するレイアウトを選択します。
4. [1 列]、[2 列]、[3 列] または [4 列] を選択すると、レイアウトの各列に追加のプロパティを設定できます。
 - a. [幅] フィールドに、列で使用する幅をワークスペースに対するパーセンテージで入力します。パーセンテージは、デフォルトで、各列の幅が均等なサイズになるように設定されます。
 - b. My webMethods において、ウィンドウ内の長いテキスト行をウィンドウサイズに収まるように折り返す必要がある場合は、[行の折り返し] チェックボックスをオンにします。長い行を折り返さない場合は、チェックボックスをオフにします。

長い行を折り返すと、ウィンドウを列にうまく収めることができます。
 - c. [水平配置] リストから、ウィンドウの列内での水平方向の配置方法を選択します。デフォルトでは、ウィンドウは各列内で左揃えで配置されます。
 - d. [垂直配置] リストから、ウィンドウの列内での垂直方向の配置方法を選択します。デフォルトでは、ウィンドウは各列内で上揃えで配置されます。
5. [OK] をクリックします。
6. ワークスペースのタブで ▼ ([メニュー]) アイコンをクリックし、[ワークスペースの保存] を選択して変更を保存します。

ワークスペースを開く

所有しているワークスペースおよび他のユーザが所有していて共有しているワークスペースを開くことができます。ワークスペースの共有の詳細については、[59 ページの「ワークスペースの共有」](#)を参照してください。

ワークスペースを開くには

1. ナビゲーションパネルで、[ナビゲーション] タブをクリックします。

2. [ナビゲーション] タブの [ワークスペース] セクションで、開くワークスペースの名前を参照してクリックします。

メモ: 開くワークスペースがナビゲーションパネルにない場合は、これを検索してナビゲーションに追加できます。詳細については、[61 ページの「ナビゲーションパネルへのワークスペースの追加について」](#)を参照してください。

ワークスペースプロパティ

ワークスペースのプロパティを開いて、プロパティを表示または設定できます。プロパティは以下のタブにグループ化されています。

- **[全般]** タブ。ワークスペース名や説明などのプロパティをリストします。各全般プロパティのリストおよび説明については、以下の表を参照してください。
- **[レイアウト]** タブ。ワークスペース内でのウィンドウの配置を定義するときに使用できます。詳細については、[53 ページの「ワークスペースのレイアウトの定義」](#)を参照してください。

以下の表は、**[全般]** タブのプロパティを示しています。

セクション名	プロパティ	説明
[全般]	[名前]	ワークスペースの名前。 ワークスペース名を変更する手順については、 56 ページの「ワークスペースの全般プロパティの設定」 および 57 ページの「ワークスペースの名前変更」 を参照してください。
	[説明]	ワークスペースの説明。 メモ: 現在、説明はプロパティにリストされているだけであり、My webMethods で特定の目的には使用されていません。 ワークスペースの説明を変更する手順については、 56 ページの「ワークスペースの全般プロパティの設定」 を参照してください。
	[キーワード]	後でワークスペースを検索するときに使用するために、ワークスペースに割り当てるキーワード。 ワークスペースのキーワードを定義する手順については、 56 ページの「ワークスペースの全般プロパティの設定」 を参照してください。
[保守]	[所有者]	ワークスペースを所有しているユーザのユーザ名。

セクション名	プロパティ	説明
	[作成日時]	ワークスペースが作成された日時。
	[更新日時]	ワークスペースが最後に更新された日時。
	[エイリアス]	このプロパティはエキスパートユーザ向けです。ワークスペースは、0 個、1 個またはそれ以上のエイリアスを持つことができます。エイリアスでは、ワークスペースにアクセスするための代替の方法を定義します。ワークスペースの開発者は、複数のページを持つ複雑なアプリケーションを構築しているときに、ワークスペースを参照する必要がある場合 (たとえば、ページ間のナビゲーションを作成しているときに、特定のワークスペースにパラメータを渡す必要がある場合)、エイリアスを追加する必要があることがあります。エイリアスの詳細については、『 <i>Administering My webMethods Server</i> 』を参照してください。

ワークスペースの全般プロパティの設定

ワークスペースの全般プロパティを表示および設定するには、以下の手順に従います。[全般] タブのプロパティの説明については、[55 ページの「ワークスペースプロパティ」](#)を参照してください。

メモ: [レイアウト] タブのプロパティの設定手順については、[53 ページの「ワークスペースのレイアウトの定義」](#)を参照してください。

メモ: ワークスペースプロパティを更新するには、ワークスペースの所有者であるか、または別のユーザの共有ワークスペースを使用している場合には、そのワークスペースに対して「表示および変更」権限または「フルコントロール」権限を持っている必要があります。ワークスペースの共有の詳細については、[59 ページの「ワークスペースの共有」](#)を参照してください。

ワークスペースプロパティを設定するには

1. ワークスペースのタブで ▼ ([メニュー]) アイコンをクリックし、[ワークスペースプロパティ] を選択します。
2. [全般] タブを選択します。
3. ワークスペースの名前を変更するには、[名前] フィールドに新しい名前を入力します。
名前は 1~255 文字で指定できます。非 ASCII 文字や特殊文字を含む任意の文字を使用できます。名前は、すべてのワークスペース間で一意である必要があります。重複名を割り当てようとすると、My webMethods は名前に接尾辞を付加します。たとえば、「(2)」を付加して名前を一意にします。
4. [説明] フィールドに、ワークスペースの説明を入力します (オプション)。
説明は 1~255 文字で指定できます。非 ASCII 文字や特殊文字を含む任意の文字を使用できます。

5. **[キーワード]** フィールドに、ワークスペースと関連付ける 1 つ以上のキーワードを入力します (オプション)。複数のキーワードを指定する場合は、キーワードをカンマで区切ります。
キーワードの指定には、非 ASCII 文字や特殊文字を含む任意の文字を使用できます。キーワードに使用できる文字数に制限はありません。
6. **[OK]** をクリックします。
7. ワークスペースのタブで ▼ (**[メニュー]**) アイコンをクリックし、**[ワークスペースの保存]** を選択して変更を保存します。

ワークスペースのエイリアスの使用の手順については、*Administering My webMethods Server*を参照してください。

ワークスペースの名前変更

ワークスペースの名前を変更するには、ワークスペースの所有者であるか、または別のユーザの共有ワークスペースを使用している場合には、そのワークスペースに対して「表示および変更」権限または「フルコントロール」権限を持っている必要があります。ワークスペースの共有の詳細については、[59 ページの「ワークスペースの共有」](#)を参照してください。

ワークスペースの名前を変更するには

1. ワークスペースのタブで ▼ (**[メニュー]**) アイコンをクリックし、**[ワークスペース名の変更]** を選択します。
2. **[新規ワークスペース名]** フィールドの **[ワークスペース名の変更]** ウィンドウに、ワークスペースに割り当てる名前を入力します。
名前は 1~255 文字で指定できます。非 ASCII 文字や特殊文字を含む任意の文字を使用できます。名前は、すべてのワークスペース間で一意である必要があります。重複名を割り当てようとすると、My webMethods は名前に接尾辞を付加します。たとえば、「(2)」を付加して名前を一意にします。
3. **[OK]** をクリックして、**[ワークスペース名の変更]** ウィンドウを閉じます。

ワークスペースの共有

ワークスペースは他のユーザと共有することができます。

- 他のユーザが表示する必要がある情報を含むワークスペースを持っている場合は、このワークスペースを該当のユーザと共有し、このワークスペースに対する「表示のみ」権限を付与します。
- 他のユーザが表示する必要があるだけでなく、そのユーザが情報を提供できるワークスペースを持っている場合は、このワークスペースを該当のユーザと共有し、このワークスペースに対する「表示および変更」権限を付与します。
- 自分が所有するワークスペースに対するフルコントロールを他のユーザが持つことを許可する場合は、このワークスペースを共有し、「フルコントロール」権限を付与します。

ワークスペースは、個別のユーザ、ユーザのグループまたは役割と共有することができます。グループまたは役割に権限を付与した場合、ワークスペースにアクセスさせたくない個別のユーザがそのグループまたは役割内に含まれている場合があります。この場合は、ユーザアクセスを明示的に拒否できます。

ワークスペースの共有または共有解除の手順を実行するときに単にオプションを選択するだけで、ユーザとのワークスペースの共有または共有解除を設定する場合に My webMethods から通知をユーザに送信することができます。既存のユーザ/グループ/役割の権限を変更するときは、My webMethods は通知を送信しません。通知が送信されるのは、ユーザ/グループ/役割が追加または削除された場合のみです。My webMethods は、通知を電子メールメッセージで送信します。

- ユーザについて、My webMethods は、ユーザの My webMethods プロファイルから使用する電子メールアドレスを取得します。
- グループについて、My webMethods は、各ユーザの My webMethods プロファイルからグループ内の各ユーザの電子メールアドレスを取得します。
- 役割について、役割の電子メールアドレスを指定する「電子メール」属性が役割にある場合、My webMethods はその電子メールアドレスに通知を送信します。それ以外の場合、My webMethods は、各ユーザの My webMethods プロファイルから役割の各メンバーの電子メールアドレスを取得します。

メモ: 電子メールアドレスがない場合、通知は送信されません (ユーザがプロファイルに電子メールアドレスを入力していない場合など)。また、役割の「電子メール」属性がない場合、My webMethods は、役割が静的役割である場合にのみ、役割のメンバーに通知を送信します。LDAP クエリー、データベースまたはルールベース役割への通知の送信はサポートされていません。

ワークスペースの共有の手順については、[59 ページの「ワークスペースの共有」](#)を参照してください。割り当て可能な権限の説明については、[58 ページの「ワークスペース共有権限」](#)を参照してください。

ユーザに「表示および変更」権限および「フルコントロール」権限 (またはこれらのいずれか) を付与した場合、複数のユーザが同時に 1 つのワークスペースに対して作業や更新を行う可能性があります。この場合、2 人以上のユーザがワークスペース内の同じウィンドウを変更した場合、最後に保存したユーザによる変更が保持されます。

ワークスペース共有権限

以下の表で、ワークスペースを共有するときにユーザに割り当てることができるワークスペース権限について説明します。

権限	使用目的
権限なし	<p>ユーザ、グループおよび役割がワークスペースに対して任意のアクション (ワークスペースの表示を含む) を行う権限を明示的に拒否します。</p> <p>グループまたは役割にアクセス権を付与したが、そのグループまたは役割内の 1 人以上のユーザに対して明示的にアクセスを拒否する場合に、この権限を使用します。</p>

権限	使用目的
	<p>メモ: ワークスペースの所有者および Admin Role のすべてのユーザ (たとえば、sysadmin) は、実際の権限設定に関係なく、常にワークスペースに対するフルコントロール権限を持ちます。</p>
<p>表示のみ</p>	<p>ユーザがワークスペースを表示できるようにします。ユーザはワークスペースのコンテンツを変更できません。</p> <p>メモ: ワークスペースにこの権限を設定すると、同じ設定がそのワークスペース内のすべてのウィンドウに割り当てられます。このため、「表示のみ」権限を使用すると、そのワークスペース内のすべてのウィンドウも「表示のみ」に設定され、ワークスペース内のウィンドウに対して設定したカスタム権限は上書きされます。「表示のみ」ワークスペースを使用するが、そのワークスペース内の一部のウィンドウをユーザが変更することを許可する場合は、まずワークスペース権限を「表示のみ」に設定してから、ワークスペース内の該当のウィンドウにカスタム権限を割り当てます。</p>
<p>表示および変更</p>	<p>ユーザがワークスペースのコンテンツを表示および変更できるようにします。特に、この権限をユーザに付与すると、ユーザは以下のことを実行できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ワークスペースのコンテンツの表示 ■ ワークスペースのレイアウトの更新 ■ ワークスペースプロパティの更新 ■ ワークスペース名の変更 ■ ワークスペースへのコンテンツの追加 ■ ワークスペース内のウィンドウのプロパティの更新 ■ ワークスペース内のウィンドウ名の変更 ■ ワークスペース内のウィンドウのサイズ変更 ■ ワークスペース内のウィンドウの再配置 ■ ワークスペースからのウィンドウの削除
<p>フルコントロール</p>	<p>ワークスペースのフルコントロールをユーザに付与します。「表示および変更」権限を付与されたときにユーザが実行できるすべてのタスクに加えて、ユーザはワークスペースに対して以下のアクションも実行できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 他のユーザとのワークスペースの共有 ■ ワークスペースの削除

ワークスペースの共有

他のユーザ、グループまたは役割とワークスペースを共有するには、以下の手順に従います。

メモ: 他のユーザとワークスペースを共有するには、ワークスペースの所有者であるか、または別のユーザの共有ワークスペースを使用している場合には、そのワークスペースに対して「フルコントロール」権限を持っている必要があります。

ワークスペースを共有するには

1. ワークスペースのタブで ▼ ([メニュー]) アイコンをクリックし、[ワークスペースの共有] を選択します。
2. [ワークスペースの共有] ウィンドウで、[追加] をクリックします。
3. [プリンシパルの選択] ウィンドウを使用して、ワークスペースを共有するユーザ、グループ、および役割を検索して選択します。終了したら、[適用] をクリックして [プリンシパルの選択] ウィンドウを閉じます。[プリンシパルの選択] ウィンドウの使用の詳細については、[91 ページの「ユーザ、グループおよび役割の検索」](#)を参照してください。

選択したユーザ、グループおよび役割ごとに、My webMethods によって [ワークスペースの共有] ウィンドウに行が追加されます。

4. 選択したユーザ、グループ、および役割ごとに、そのユーザ、グループまたは役割に割り当てる権限を [権限] 列のリストから選択します。割り当て可能な権限の詳細については、『[58 ページの「ワークスペース共有権限」](#)』を参照してください。
5. この変更によって影響を受けるユーザに通知する場合は、[ワークスペースの共有の設定時または解除時にコラボレータに通知] チェックボックスをオンにします。
6. [適用] をクリックします。

ワークスペースの共有の解除

ユーザ、グループまたは役割とのワークスペースの共有が不要になった場合は、以下の手順に従います。

メモ: 他のユーザとのワークスペースの共有を解除するには、ワークスペースの所有者であるか、または別のユーザの共有ワークスペースを使用している場合には、そのワークスペースに対して「フルコントロール」権限を持っている必要があります。

ワークスペースの共有を解除するには





1. ワークスペースのタブで ▼ ([メニュー]) アイコンをクリックし、[ワークスペースの共有] を選択します。
2. [ワークスペースの共有] ウィンドウで、ワークスペースへのアクセス権の共有が不要になったユーザ、グループ、および役割のチェックボックスをオンにします。
3. この変更によって影響を受けるユーザに通知する場合は、[ワークスペースの共有の設定時または解除時にコラボレータに通知] チェックボックスをオンにします。
4. [削除] をクリックします。
5. [適用] をクリックします。

ワークスペースを閉じる

ワークスペースを開いている必要がなくなった場合、これを閉じることができます。ワークスペースを再使用する必要がある場合は、これを再び開くことができます。手順については、[54 ページの「ワークスペースを開く」](#)を参照してください。

メモ: 不要となったワークスペースは、完全に撤去できます。手順については、[61 ページの「ワークスペースの削除」](#)を参照してください。

ワークスペースを閉じるには

- 閉じるワークスペースのタブで、 ([閉じる]) アイコンをクリックします。または、
- ワークスペースのタブで  ([メニュー]) アイコンをクリックし、[閉じる] を選択します。または、
-  アイコンをクリックしてタブ検索を開き、閉じるワークスペースのタブ検索の  アイコンをクリックします。


ワークスペースの削除

不要となったワークスペースは、削除することによってこれを完全に撤去できます。

メモ: ワークスペースを開いている必要がなくなったため、これを一時的に閉じる場合は、[61 ページの「ワークスペースを閉じる」](#)を参照してください。

メモ: ワークスペースを削除するには、ワークスペースの所有者であるか、または別のユーザの共有ワークスペースを使用している場合には、そのワークスペースに対して「フルコントロール」権限を持っている必要があります。ワークスペースの共有の詳細については、[59 ページの「ワークスペースの共有」](#)を参照してください。

ワークスペースを削除するには

- ワークスペースのタブで、 ([メニュー]) アイコンをクリックし、[ワークスペースの削除] を選択します。または、
- ナビゲーションパネルの [ナビゲーション] タブで、ワークスペース名を右クリックして [ワークスペースの削除] を選択します。

ナビゲーションパネルへのワークスペースの追加について

ワークスペースに簡単にアクセスするために、ナビゲーションパネルの [ワークスペース] セクションの [ナビゲーション] タブにワークスペースを追加できます。自分が所有しているワークスペースおよび他のユーザと共有しているワークスペースを追加できます。

ナビゲーションでワークスペースが不要になった場合、これを撤去できます。ナビゲーションからワークスペースを撤去する場合、削除されるわけではありません。ワークスペースがナビゲーションパネルにリストされなくなるだけです。

ワークスペースフォルダを作成してナビゲーションパネルでワークスペースを整理およびグループ化し、そのワークスペースをカスタムフォルダに追加できます。

ナビゲーションパネルへのワークスペースの追加

ナビゲーションパネルにワークスペースを追加する場合、ワークスペースを配置するワークスペースフォルダを選択します。

既存のフォルダにワークスペースを追加できます。別のフォルダを使用する場合は、フォルダを追加してからナビゲーションパネルにワークスペースを追加します。異なるフォルダに同じワークスペースを追加する場合、そのワークスペースをナビゲーションに複数回追加できます。フォルダの追加の詳細については、[63 ページの「ナビゲーションパネルへのワークスペースフォルダの追加」](#)を参照してください。

ナビゲーションパネルにワークスペースを追加するには

1. ナビゲーションパネルで、**[ナビゲーション]** タブをクリックします。
2. **[ワークスペース]** セクションで、ワークスペースを追加するフォルダの名前を右クリックし、**[ワークスペースをフォルダへ追加]** を選択します。
3. **[ワークスペースの選択]** ウィンドウで、追加するワークスペースを検索します。
 - a. **[キーワード]** フィールドで、ワークスペースの検索に My webMethods が使用するキーワードを入力します。My webMethods は、指定したキーワードをワークスペース名およびワークスペースに割り当てられたキーワードと照合します。
 - b. **[検索場所]** フィールドで、照合するワークスペースを検索するフォルダを選択します。
 - c. 自分が所有者であるワークスペースのみを検索するか、他のユーザと共有しているワークスペースも検索するかを指定します。
 - 自分が所有しているワークスペースのみを検索するには、**[自分が所有するワークスペースのみインクルード]** チェックボックスをオンにします。
 - 自分がアクセスできるすべてのワークスペースを検索するには、**[自分が所有するワークスペースのみインクルード]** チェックボックスをオフにします。
 - d. **[検索]** をクリックします。
4. **[結果]** パネルで、ナビゲーションパネルに追加するワークスペースを選択します。
5. **[OK]** をクリックします。

メモ: ワークスペースフォルダに追加したワークスペースを表示するには、ワークスペースフォルダを展開する必要があります。

ナビゲーションパネルからのワークスペースの削除

ナビゲーションパネルからワークスペースにアクセスする必要がなくなった場合は、ワークスペースを撤去できます。ナビゲーションからワークスペースを撤去する場合、削除されるわけではありません。ワークスペースがナビゲーションパネルにリストされなくなるだけです。

ナビゲーションパネルからワークスペースを撤去するには

1. ナビゲーションパネルで、[ナビゲーション] タブをクリックします。
2. [ワークスペース] セクションで、撤去するワークスペースの名前を右クリックし、[ワークスペースの撤去] を選択します。

ナビゲーションパネルへのワークスペースフォルダの追加

ナビゲーションパネルでワークスペースの整理およびグループ化を行うために、ワークスペースフォルダを追加し、そのフォルダにワークスペースを追加できます。フォルダを追加するときは、新しいフォルダの親フォルダを選択します。新しいフォルダは、既存のフォルダのサブフォルダになります。

ワークスペースフォルダを追加するには

1. ナビゲーションパネルで、[ナビゲーション] タブをクリックします。
2. [ワークスペース] セクションで、既存のフォルダの名前を右クリックし、[新規フォルダの作成] を選択します。
新しいフォルダは、選択したフォルダのサブフォルダになります。
3. [新規フォルダの作成] ウィンドウの [新規フォルダの名前] フィールドに、フォルダの名前を入力します。
名前は 1~255 文字で指定できます。非 ASCII 文字や特殊文字を含む任意の文字を使用できます。
4. [OK] をクリックします。

ナビゲーションパネルのワークスペースフォルダの名前変更

ナビゲーションパネルの既存のワークスペースフォルダの名前を変更するには、以下の手順に従います。

ワークスペースフォルダの名前を変更するには

1. ナビゲーションパネルで、[ナビゲーション] タブをクリックします。
2. [ワークスペース] セクションで、名前を変更するワークスペースフォルダの名前を右クリックし、[フォルダ名の変更] を選択します。
3. [フォルダ名の変更] ウィンドウの [新しいフォルダ名] フィールドに、フォルダの新しい名前を入力します。
名前は 1~255 文字で指定できます。非 ASCII 文字や特殊文字を含む任意の文字を使用できます。
4. [OK] をクリックします。

ナビゲーションパネルからのワークスペースフォルダの削除

ナビゲーションパネルでワークスペースフォルダが不要になった場合、これを削除できます。ワークスペースフォルダを削除すると、フォルダおよびそのコンテンツがナビゲーションパネルから撤去されます。フォルダにワークスペースが含まれている場合、そのワークスペースもナビゲーションから撤去されます。ワークスペースは削除されるわけではありません。ワークスペースがナビゲーションパネルにリストされなくなるだけです。

ナビゲーションパネルからワークスペースフォルダを撤去するには

1. ナビゲーションパネルで、[ナビゲーション] タブをクリックします。
2. [ワークスペース] セクションで、撤去するフォルダの名前を右クリックし、[フォルダの削除] を選択します。

My webMethodsフォルダおよびそのコンテンツがナビゲーションから撤去されます。

6 ワークスペースコンテンツの使用

■ ワークスペースコンテンツについて	66
■ ワークスペースへのツールの追加	66
■ アプリケーションページからワークスペースへのウィンドウの追加	66
■ ワークスペース間でのウィンドウの追加	68
■ ワークスペース内のウィンドウの全般プロパティ	69
■ ウィンドウのプロパティの表示	70
■ ワークスペース内のウィンドウの名前変更	70
■ ウィンドウの説明の更新	71
■ ワークスペース内のウィンドウの検索	71
■ ウィンドウのサイズ変更	72
■ ワークスペースでのウィンドウの配置	73
■ ワークスペースからのウィンドウの削除	73

ワークスペースコンテンツについて

必要なコンテンツをワークスペースに追加できます。通常、特定の問題やトピックに関する情報を保持するための単一の場所としてワークスペースを作成し、その問題やトピックに関するコンテンツを追加します。たとえば、会社の新入社員に関する情報の追跡を担当している場合は、新入社員ごとにワークスペースを作成できます。新入社員に関するドキュメントの添付、新入社員の画像の追加、実行する必要があるアクションのメモの追加などを実行できます。

ワークスペースの所有者として、ワークスペース内のウィンドウに対してあらゆるアクションを実行できます。ただし、別のユーザの共有ワークスペースを使用している場合は、そのワークスペースの所有者が割り当てた権限に基づいて、アクションが制限されることがあります。たとえば、情報を表示する権限のみが付与されており、情報の変更は許可されていないことがあります。ワークスペースの共有の詳細については、[59 ページの「ワークスペースの共有」](#)を参照してください。

ワークスペースへのツールの追加

ワークスペースには任意の数のツールを追加できます。同じツールを複数回使用できます。My webMethods をインストールすることによって提供されるツールの説明については、[75 ページの「ワークスペースを拡張するツールの使用」](#)を参照してください。

メモ: ワークスペースに新規コンテンツを追加するには、ワークスペースの所有者であるか、または別のユーザの共有ワークスペースを使用している場合には、そのワークスペースに対して「表示および変更」権限または「フルコントロール」権限を持っている必要があります。ワークスペースの共有の詳細については、[59 ページの「ワークスペースの共有」](#)を参照してください。

ワークスペースにツールを追加するには

1. コンテンツを追加するワークスペースを開きます。手順については、[54 ページの「ワークスペースを開く」](#)を参照してください。
2. ナビゲーションパネルで、[ツール] タブをクリックします。
3. ツールをナビゲーションパネルからコンテンツ領域のワークスペースにドラッグします。
4. ワークスペースのタブで、▼ ([メニュー]) アイコンをクリックし、[ワークスペースの保存] を選択します。

アプリケーションページからワークスペースへのウィンドウの追加

アプリケーションページからワークスペースにウィンドウを追加できます。これは、アプリケーション内の情報がワークスペースに配置しているデータと関係がある場合に便利です。たとえば、新入社員に関する情報を追跡するワークスペースがあり、新入社員に関するタスクを管理するビジネスプロセスがある場合、新入社員のビジネスプロセスに関するアプリケーションページウィンドウを追加できます。


ワークスペースに追加するウィンドウがアプリケーションページの別のウィンドウにワイヤリング (接続) されている場合、My webMethods はその接続を解除し、そのウィンドウがワークスペースページで独立できるようにします。ウィンドウでは、ワークスペースにウィンドウを追加したときに行った設定が保持されます。

たとえば、ワークスペースに検索結果ウィンドウを追加した場合、My webMethods は検索パネルと検索結果の接続を解除します。ウィンドウの設定は、この検索結果の抽出に使用された検索条件に設定されます。ワークスペースに追加された検索結果パネルには、この検索条件の結果が引き続き反映されます。

この条件と一致する項目が増えると、検索結果に表示される項目が増えます。この条件と一致する項目が減ると、検索結果に表示される項目が減ります。ただし、My webMethods では検索結果がキャッシュされることに注意してください。したがって、タブで検索結果を更新するには、My webMethods がワークスペースのウィンドウを更新するようなアクション (ワークスペースを閉じてから再び開くなど) を行う必要があります。

メモ: ワークスペースに新規コンテンツを追加するには、ワークスペースの所有者であるか、または別のユーザの共有ワークスペースを使用している場合には、そのワークスペースに対して「**表示および変更**」権限または「**フルコントロール**」権限を持っている必要があります。ワークスペースの共有の詳細については、[59 ページの「ワークスペースの共有」](#)を参照してください。

アプリケーションページからワークスペースにウィンドウを追加するには

1. ナビゲーションパネルで、**[ナビゲーション]** タブをクリックします。
2. **[アプリケーション]** セクションで、ワークスペースに追加するウィンドウを含むページにナビゲートします。
3. ワークスペースに追加するウィンドウのタイトルバーで、 (**[メニュー]**) アイコンをクリックします。
4. **[ワークスペースへ追加]** をクリックします。

メモ: アプリケーションページのウィンドウがそのアプリケーションページの外部で正しく機能できない場合、**[ワークスペースへ追加]** 機能は使用できません。

5. **[ワークスペースへ追加]** ウィンドウで、コンテンツの追加先のワークスペースを検索します。
 - a. **[キーワード]** フィールドで、ワークスペースの検索に My webMethods が使用するキーワードを入力します。My webMethods は、指定したキーワードをワークスペース名およびワークスペースに割り当てられたキーワードと照合します。
 - b. **[検索場所]** フィールドで、照合するワークスペースを検索するフォルダを選択します。
 - c. 自分が所有者であるワークスペースのみを検索するか、他のユーザと共有しているワークスペースも検索するかを指定します。
 - 自分が所有しているワークスペースのみを検索するには、**[自分が所有するワークスペースのみインクルード]** チェックボックスをオンにします。
 - 自分がアクセスできるすべてのワークスペースを検索するには、**[自分が所有するワークスペースのみインクルード]** チェックボックスをオフにします。
 - d. **[検索]** をクリックします。
6. **[結果]** パネルで、ウィンドウの追加先のワークスペースを選択します。


7. **[追加]** をクリックします。

ワークスペース間でのウィンドウの追加

あるワークスペースのウィンドウを別のワークスペースに追加できます。ソースワークスペースのウィンドウはターゲットワークスペースと共有されません。My webMethods では、ターゲットワークスペース用にウィンドウのコピーが作成されます。つまり、ワークスペースにウィンドウを追加した後、My webMethods では、ソースウィンドウの元のバージョンに対して行われた変更と、ターゲットウィンドウのコピーが同期されません。ソースワークスペースとターゲットワークスペースのウィンドウに対して変更が行われると、これらは異なるウィンドウになります。

メモ: ワークスペースに新規コンテンツを追加するには、ワークスペースの所有者であるか、または別のユーザの共有ワークスペースを使用している場合には、そのワークスペースに対して「表示および変更」権限または「フルコントロール」権限を持っている必要があります。ワークスペースの共有の詳細については、[59 ページの「ワークスペースの共有」](#)を参照してください。

ワークスペース間でウィンドウを追加するには

1. ナビゲーションパネルで、**[ナビゲーション]** タブをクリックします。
2. **[ワークスペース]** セクションで、別のワークスペースに追加するソースウィンドウを含むワークスペースにナビゲートします。
3. ソースウィンドウのタイトルバーで、 (**[メニュー]**) アイコンをクリックします。
4. **[ワークスペースへ追加]** を選択します。
5. **[ワークスペースへ追加]** ウィンドウで、コンテンツの追加先のワークスペースを検索します。
 - a. **[キーワード]** フィールドで、ワークスペースの検索に My webMethods が使用するキーワードを入力します。My webMethods は、指定したキーワードをワークスペース名およびワークスペースに割り当てられたキーワードと照合します。
 - b. **[検索場所]** フィールドで、照合するワークスペースを検索するフォルダを選択します。
 - c. 自分が所有者であるワークスペースのみを検索するか、他のユーザと共有しているワークスペースも検索するかを指定します。
 - 自分が所有しているワークスペースのみを検索するには、**[自分が所有するワークスペースのみインクルード]** チェックボックスをオンにします。
 - 自分がアクセスできるすべてのワークスペースを検索するには、**[自分が所有するワークスペースのみインクルード]** チェックボックスをオフにします。
 - d. **[検索]** をクリックします。
6. **[結果]** パネルで、ウィンドウの追加先のワークスペースを選択します。
7. **[追加]** をクリックします。

ワークスペース内のウィンドウの全般プロパティ

ウィンドウのプロパティを開いて表示または設定することができます。プロパティはタブでグループ化されています。すべてのウィンドウには、全般プロパティが含まれている [全般] タブがあります。全般プロパティについては、以下の表で説明します。

メモ: 一部のウィンドウには、[設定] タブにリストされているプロパティもあります。設定はウィンドウ固有です。設定の表示および実行の手順については、特定のウィンドウの情報を参照してください。


セクション名	プロパティ	説明
[全般]	[名前]	<p>ウィンドウのタイトルバーに表示されるウィンドウの名前。</p> <p>ウィンドウ名を変更する手順については、70 ページの「ワークスペース内のウィンドウの名前変更」を参照してください。</p>
	[説明]	<p>ウィンドウの説明。</p> <p>メモ: 現在、説明はプロパティにリストされているだけであり、My webMethods で特定の目的には使用されていません。</p> <p>ウィンドウの説明を変更する手順については、71 ページの「ウィンドウの説明の更新」を参照してください。</p>
[KPI インスタンスの詳細] ページ	[フルページ表示]	このプロパティはエキスパートユーザ向けです。このプロパティは、ユーザがウィンドウの URL を入力してそのウィンドウに直接ナビゲートするときに、ウィンドウに対して使用する表示を定義します。
	[ポートレット表示]	このプロパティはエキスパートユーザ向けです。このプロパティは、ワークスペースでウィンドウを表示するときに、ウィンドウに対して使用する表示を定義します。
[保守]	[所有者]	ウィンドウを所有しているユーザのユーザ名。
	[作成日時]	ウィンドウがワークスペースに追加された日時。
	[更新日時]	ウィンドウが最後に更新された日時。
	[エイリアス]	このプロパティはエキスパートユーザ向けです。ウィンドウは、0 個、1 個またはそれ以上のエイリアスを持つこと

セクション名	プロパティ	説明
		<p>ができます。エイリアスでは、ウィンドウにアクセスするための代替の方法を定義します。ワークスペースの開発者は、複数のページを持つ複雑なアプリケーションを構築しているときに、個別のウィンドウを参照する必要がある場合 (たとえば、ページ間のナビゲーションを作成しているときに、特定のウィンドウにパラメータを渡す必要がある場合)、エイリアスを追加する必要があることがあります。エイリアスの詳細については、『<i>Administering My webMethods Server</i>』を参照してください。</p>

ウィンドウのプロパティの表示

ウィンドウのプロパティを表示するには、以下の手順に従います。

ウィンドウのプロパティを表示するには

1. ウィンドウのタイトルバーで、 ([メニュー]) アイコンをクリックします。
2. [プロパティ] を選択します。
3. 表示するプロパティのタブを選択します。
4. [キャンセル] をクリックして、変更せずにプロパティを閉じます。


ワークスペース内のウィンドウの名前変更

ワークスペースにウィンドウを追加すると、ウィンドウに名前が割り当てられます。全般プロパティを更新することによって、ウィンドウの名前を変更できます。

ウィンドウの名前はワークスペース内で一意である必要があります。次に同じウィンドウを追加すると、名前が一意になるよう名前に「n」が付加されます。

メモ: ウィンドウのプロパティを更新するには、ワークスペースの所有者であるか、または別のユーザの共有ワークスペースを使用している場合には、そのワークスペースに対して「表示および変更」権限または「フルコントロール」権限を持っている必要があります。ワークスペースの共有の詳細については、[59 ページの「ワークスペースの共有」](#)を参照してください。

ワークスペース内のウィンドウの名前を変更するには

1. 名前を変更するウィンドウのタイトルバーで、 ([メニュー]) アイコンをクリックします。
2. [プロパティ] を選択します。
3. [全般] タブを選択します。
4. [名前] フィールドに新しい名前を入力します。

名前は 1~255 文字で指定できます。非 ASCII 文字や特殊文字を含む任意の文字を使用できます。

5. [適用] をクリックします。
6. ワークスペースのタブで、▼ ([メニュー]) アイコンをクリックし、[ワークスペースの保存] を選択します。

ウィンドウの説明の更新

ワークスペースにウィンドウを追加する場合、デフォルトでは、ウィンドウに関連付けられた説明はありません。ウィンドウのプロパティに表示される説明を追加できます。

メモ: ウィンドウのプロパティを更新するには、ワークスペースの所有者であるか、または別のユーザの共有ワークスペースを使用している場合には、そのワークスペースに対して「表示および変更」権限または「フルコントロール」権限を持っている必要があります。ワークスペースの共有の詳細については、59 ページの「ワークスペースの共有」を参照してください。

ウィンドウの説明を更新するには


1. 説明を追加または更新するウィンドウのタイトルバーで、▼ ([メニュー]) アイコンをクリックします。
2. [プロパティ] を選択します。
3. [全般] タブを選択します。
4. [説明] フィールドに新しい説明を入力します。
説明は 1~255 文字で指定できます。非 ASCII 文字や特殊文字を含む任意の文字を使用できます。
5. [適用] をクリックします。
6. ワークスペースのタブで、▼ ([メニュー]) アイコンをクリックし、[ワークスペースの保存] を選択します。

ワークスペース内のウィンドウの検索

ワークスペースに多くのウィンドウを追加した場合、ワークスペースを目で確認しながら目的のウィンドウを探すと、時間がかかることがあります。このことは、特にワークスペースでフリーフォームレイアウトを使用している場合に当てはまります。この場合、ウィンドウが重なり合い、目的のウィンドウが隠れてしまうことがあります。ワークスペースのレイアウトの詳細については、53 ページの「ワークスペースのレイアウトの定義」を参照してください。

特定のウィンドウを探して現在のウィンドウにするには、ウィンドウ検索を使用します。ワークスペースでフリーフォームレイアウトを使用しており、目的のウィンドウが隠れている場合は、ウィンドウを現在のウィンドウにすると、そのウィンドウが前面に表示されます。

ワークスペースでウィンドウを検索するには

1. ワークスペースの右上隅で  ([ウィンドウ検索]) アイコンをクリックします。
2. [ウィンドウ検索] で、現在のウィンドウにするウィンドウの名前を選択します。







ウィンドウのサイズ変更




My webMethods には、ワークスペース内でウィンドウのサイズを変更するための多くの機能が用意されています。以下の操作を実行できます。

- **ウィンドウの最小化** My webMethods ではウィンドウのタイトルバーのみが表示されます。この機能は、ウィンドウのコンテンツを表示する必要がない場合に使用します。
- **ウィンドウの最大化** コンテンツ領域のフルサイズを使用します。この機能は、ウィンドウのスペースを増やす必要がある場合に使用します。
- **ウィンドウを元に戻す** 以前のサイズに戻します。この機能は、ウィンドウを最小化した後にコンテンツを再表示する場合、またはウィンドウを最大化した後にウィンドウでフルコンテンツ領域を使用する必要がなくなった場合に使用します。
- **ウィンドウサイズの最適化** My webMethods ではウィンドウに使用する最適なサイズが自動的に設定されます。
 - ワークスペースにフリーフォームレイアウトを使用している場合、ウィンドウはコンテンツに適したサイズに変更されます。
 - 列レイアウト ([**2 列**] など) を使用している場合、ウィンドウは、垂直方向ではウィンドウのコンテンツに合わせて、水平方向では列の幅に合わせてサイズ変更されます。
- **ウィンドウサイズのカスタマイズ** ウィンドウの端をドラッグして希望のサイズにします。


メモ: ワークスペース内でウィンドウのサイズを変更するには、ワークスペースの所有者であるか、または別のユーザの共有ワークスペースを使用している場合には、そのワークスペースに対して「表示および変更」権限または「フルコントロール」権限を持っている必要があります。ワークスペースに対して「表示のみ」権限を持っている場合、ウィンドウのサイズを変更できますが、その変更を保存することはできません。このため、ワークスペースを終了すると、ウィンドウは前の状態に戻ります。ワークスペースの共有の詳細については、[59 ページの「ワークスペースの共有」](#)を参照してください。

ウィンドウのサイズを変更するには

- **1 つのウィンドウを最小化するには**
 - ウィンドウのタイトルバーで、 ([**最小化**]) アイコンをクリックします。
 - ウィンドウのタイトルバーで、 ([**メニュー**]) アイコンをクリックし、[**最小化**] を選択します。
- **ワークスペースのすべてのウィンドウを最小化するには** ワークスペースの右上隅で、 ([**ウィンドウ検索**]) アイコンをクリックし、[**すべて最小化**] を選択します。
- **ウィンドウを最大化するには**
 - ウィンドウのタイトルバーで、 ([**最大化**]) アイコンをクリックします。
 - ウィンドウのタイトルバーで、 ([**メニュー**]) アイコンをクリックし、[**最大化**] を選択します。
- **ウィンドウを元に戻すには**
 - ウィンドウのタイトルバーで、 ([**元に戻す**]) アイコンをクリックします。

- ウィンドウのタイトルバーで、 ([メニュー]) アイコンをクリックし、[元に戻す] を選択します。
- **ワークスペースのすべてのウィンドウを元に戻すには** ワークスペースの右上隅で、 ([ウィンドウ検索]) アイコンをクリックし、[すべて元に戻す] を選択します。
- **ウィンドウのサイズを自動的に最適にするには** ウィンドウのタイトルバーで、 ([メニュー]) アイコンをクリックし、[自動サイズ調整] を選択します。
- **ウィンドウをカスタムサイズにするには** ウィンドウの端をドラッグして希望のサイズにします。

メモ: ワークスペースに列レイアウト ([2 列] など) を使用しているときに、列の幅よりも大きくなるようにウィンドウをドラッグすると、新しいウィンドウ幅に合うように列の幅が広くなります。

ウィンドウをサイズ変更した後、ワークスペースのタブで、 ([メニュー]) アイコンをクリックして [ワークスペースの保存] を選択し、ワークスペースを保存して変更を保持します。


ワークスペースでのウィンドウの配置

ワークスペース内のどこにウィンドウを配置できるかは、ワークスペースに使用するレイアウトによって異なります。

- フリーフォームレイアウトを使用すると、ワークスペース内の任意の場所にウィンドウを移動できます。ウィンドウは整列する必要がなく、相互に重なり合うことができます。
- 列レイアウト ([3 列] など) を使用すると、レイアウトによって、ウィンドウが列内で強制的に整列されます。列内でのウィンドウの上下の移動、および列間でのウィンドウの移動は可能です。

メモ: ワークスペース内でウィンドウを再配置するには、ワークスペースの所有者であるか、または別のユーザの共有ワークスペースを使用している場合には、そのワークスペースに対して「表示および変更」権限または「フルコントロール」権限を持っている必要があります。ワークスペースに対して「表示のみ」権限を持っている場合、ウィンドウを再配置できますが、その変更を保存することはできません。このため、ワークスペースを終了すると、ウィンドウは前の状態に戻ります。ワークスペースの共有の詳細については、[59 ページの「ワークスペースの共有」](#) を参照してください。

ワークスペースにウィンドウを配置するには



1. 再配置するウィンドウのタイトルバーの上にカーソルを移動して、カーソルを移動カーソルに変化させます。
2. ウィンドウをクリックして、新しい場所にドラッグします。
3. ワークスペースのタブで、 ([メニュー]) アイコンをクリックし、[ワークスペースの保存] を選択します。


ワークスペースからのウィンドウの削除

ウィンドウが不要になった場合、ウィンドウをワークスペースから削除できます。

メモ: ワークスペースからウィンドウを削除するには、ワークスペースの所有者であるか、または別のユーザの共有ワークスペースを使用している場合には、そのワークスペースに対して「表示および変更」権限または「フルコントロール」権限を持っている必要があります。ワークスペースの共有の詳細については、[59 ページの「ワークスペースの共有」](#)を参照してください。

ワークスペースからウィンドウを削除するには

- ウィンドウのタイトルバーで、 ([メニュー]) アイコンをクリックし、[削除] を選択します。または、
- ワークスペースの右上隅で、 ([ウィンドウ検索]) アイコンをクリックし、ワークスペースから削除するウィンドウに対して [削除] をクリックします。

ウィンドウを削除した後、ワークスペースのタブで、 ([メニュー]) アイコンをクリックして [ワークスペースの保存] を選択し、ワークスペースを保存して変更を保持します。

7 ワークスペースを拡張するツールの使用

■ MWS の監視ツールと診断ツール	76
■ ワークスペースツール	78
■ 添付ファイルツール	78
■ ブックマークツール	81
■ ディレクトリブラウザツール	84
■ HTML テキストツール	85
■ イメージツール	86
■ メモツール	88
■ ユーザカレンダーツール	89

MWS の監視ツールと診断ツール

ツールをワークスペースに追加すると、追加したツールに固有の新しいウィンドウがワークスペースに追加されます。ワークスペースのウィンドウの使用の詳細については、[65 ページの「ワークスペースコンテンツの使用」](#)を参照してください。

メモ: ワークスペースに新規コンテンツを追加するには、ワークスペースの所有者であるか、または別のユーザの共有ワークスペースを使用している場合には、そのワークスペースに対して「表示および変更」権限または「フルコントロール」権限を持っている必要があります。ワークスペースの共有の詳細については、[59 ページの「ワークスペースの共有」](#)を参照してください。

My webMethods には、監視および診断を行うツールが用意されています。これらのツールは、[ツール] タブの [MWS の監視と診断] セクションにあるナビゲーションパネルで使用できます。

重要: 以下の診断ポートレットは、My webMethods Server 8.2 以上でのみ使用できます。この診断ポートレットを使用して My webMethods Server 7.1.3 または My webMethods Server 8.0 を診断することはできません。

次の表で、それぞれのツールについて簡単に説明します。詳細については、*Diagnosing My webMethods Server* を参照してください。

ツール	使用目的
ログ分析データソース	My webMethods Server 内で作成されたログファイルを読み取り、分析します。
ログ分析期間	My webMethods Server 内で、ログファイルを作成するための期間を構成します。
ログ設定	ログメッセージ収集条件を設定します。
ログ - 重大度別エラー	重大度が警告、エラーまたは致命的であるログを分析し、表示します。
ログ - 致命的な問題	重大度が致命的であるログのみを分析し、表示します。
ログ - 問題	重大度が警告、エラーまたは致命的であるログを分析し、表示します。
ログ - 問題 - コンポーネント別	コンポーネントごとにログを分析し、表示します。

ツール	使用目的
ログ - 問題 - 製品別	製品ごとにログを分析し、表示します。
ログビューア	最新メッセージを My webMethods Server のプレーンテキストログファイルで表示します。
最も使用されているポートレット	My webMethods Server で最も使用されている 10 個のポートレットに関する統計を表示します。
最も使用されている Web サービス	My webMethods Server で最も使用されている 10 個の Web サービスに関する統計を表示します。
SOAP トラフィックの監視	別のポートレットからの Web サービス呼び出しの問題をデバッグします。
パフォーマンス分析	My webMethods Server のサービスおよびカスタムのポートレットやアプリケーションのパフォーマンスを測定し、分析します。
パフォーマンス統計	カテゴリ別にグループ化されたさまざまな My webMethods Server アクションのパフォーマンスに関する統計情報および分析情報を表示します。
遅いデータベース呼び出し	My webMethods Server で最も遅い 10 個のデータベース呼び出しに関する情報を表示します。
遅いポートレット	My webMethods Server で最も遅い 10 個のポートレットに関するパフォーマンス情報を表示します。
遅い Web サービス	My webMethods Server で最も遅い 10 個の Web サービスに関するパフォーマンス情報を表示します。
HTTP 情報	My webMethods Server のサブレットコンテナに関するコンテキスト情報を提供します。
メモリの監視	Java 仮想マシン (JVM) のメモリ使用量を監視し、設定済みのしきい値に達したときに管理者に通知を送信します。
スレッドダンプ	My webMethods Server スレッドでスレッド実行デッドロックを監視します。

ワークスペースツール

ツールをワークスペースに追加すると、追加したツールに固有の新しいウィンドウがワークスペースに追加されます。ワークスペースのウィンドウの使用方法の詳細については、[65 ページの「ワークスペースコンテンツの使用」](#)を参照してください。

メモ: ワークスペースに新規コンテンツを追加するには、ワークスペースの所有者であるか、または別のユーザの共有ワークスペースを使用している場合には、そのワークスペースに対して「表示および変更」権限または「フルコントロール」権限を持っている必要があります。ワークスペースの共有の詳細については、[59 ページの「ワークスペースの共有」](#)を参照してください。

My webMethods には、ワークスペースを拡張するためのさまざまなツールが用意されています。これらのツールは、[\[ツール\]](#) タブの [\[ワークスペースツール\]](#) セクションにあるナビゲーションパネルで使用できます。次の表に、My webMethods をインストールすることによって提供されるツールおよび各ツールに関する詳細情報が記載されている場所を示します。

ツール	使用目的	参照先
[添付ファイル]	ワークスペースにファイルを添付します。	78 ページの「添付ファイルツール」
[ブックマーク]	ワークスペースおよび Web サイトにリンクを追加します。	81 ページの「ブックマークツール」
[ディレクトリブラウザ]	他の My webMethods ユーザの識別情報を検索します。	84 ページの「ディレクトリブラウザツール」
[HTML テキスト]	書式設定されたテキストをワークスペースに追加します。	85 ページの「HTML テキストツール」
[イメージ]	イメージをワークスペースに追加します。	86 ページの「イメージツール」
[メモ]	書式設定されていない単純なテキストをワークスペースに追加します。	88 ページの「メモツール」
[ユーザカレンダー]	ユーザのカレンダーをワークスペースに追加します。	89 ページの「ユーザカレンダーツール」

添付ファイルツール

添付ファイルツールを使用すると、ワークスペースにファイルを添付できます。たとえば、新規プロジェクトの要件を追跡するワークスペースを作成する場合、添付ファイルツールを使用して、プロジェクトに関連するドキュメントを添付できます。

添付ファイルツールを設定することにより、添付ファイルに使用するリンクのタイプを選択できます。My webMethods は、添付ファイルに以下の 2 つのタイプのリンクをサポートしています。

- **単純ダウンロードリンク** これがデフォルトです。このタイプのリンクでは、リンクをクリックすると、読み取り専用バージョンのファイルが表示されます。ファイルに変更を加えるには、コピーをローカルに保存し、変更を行ってから添付ファイルを更新する必要があります。
- **Web 分散オーサリングおよびバージョン管理 (DAV) URL** このタイプのリンクでは、リンクをクリックすると、通常は読み取り/書き込みバージョンのファイルが表示されます。このため、最初にファイルをローカルに保存することなく、ファイルに変更を加えて保存できます。Web DAV URL を使用するには、以下の要件を満たしている必要があります。
 - Microsoft Internet Explorer Web ブラウザを使用します。
 - 添付する Microsoft Office ドキュメントのタイプ (.doc や .xls など) に対して、新しい Windows エクスプローラウィンドウで開くようにファイルタイプを設定します。詳細については、Microsoft のドキュメントを参照してください。
 - Microsoft Internet Explorer でファイルを読み取り/書き込みアクセス権で開き、Web DAV URL を使用するための Microsoft Office の更新がすべてインストールされていることを確認します。詳細については、Microsoft のドキュメントを参照してください。

ワークスペースへのファイルの添付

添付ファイルツールを使用してファイルを添付するときに、以下のことを実行できます。

- 添付するファイルを参照して選択できます。
- 添付するドキュメントを添付ファイルウィンドウにドラッグアンドドロップすることができます。

メモ: 添付ファイルツールの設定を行い、ドラッグアンドドロップを使用してファイルを添付できるかどうかを制御します。詳細については、[80 ページの「添付ファイルウィンドウの設定」](#)を参照してください。

添付ファイルツールを追加した後、ウィンドウの名前変更、再配置およびサイズ変更を行うことができます。ワークスペースのウィンドウの管理の詳細については、[65 ページの「ワークスペースコンテンツの使用」](#)を参照してください。

ワークスペースにファイルを添付するには

1. ナビゲーションパネルで、[ツール] タブをクリックします。
2. [ワークスペースツール] セクションで、[添付ファイル] ツールをコンテンツ領域のワークスペースにドラッグします。
3. 以下のいずれかを実行して、1 つ以上のファイルを添付します。
 - **追加するファイルを参照して選択**

- i. 添付ファイルウィンドウで、**[追加]** をクリックします。
 - ii. **[ファイルを添付]** ウィンドウで、**[参照]** をクリックします。
 - iii. 添付するファイルの場所を参照し、**[開く]** をクリックします。
 - iv. さらにファイルを追加する場合は、**[別のファイルを添付する]** をクリックし、手順を繰り返してファイルを添付します。
 - v. 添付するすべてのファイルの選択が終了したら、**[保存]** をクリックします。
- **追加するファイルをドラッグアンドドロップ**
- メモ:** ドラッグアンドドロップを使用できるかどうかは、添付ファイルウィンドウのプロパティで制御します。**[ここにファイルをドロップ]** ボックスが表示されないようにプロパティを設定できます。詳細については、[80 ページの「添付ファイルウィンドウの設定」](#)を参照してください。
- i. ローカルファイルシステムのファイルブラウザアプリケーションを開きます。
 - ii. ファイルブラウザで、添付するファイルの場所を参照します。
 - iii. 添付するファイルを、ファイルブラウザから、ワークスペースの添付ファイルウィンドウにある **[ここにファイルをドロップ]** ボックスにドラッグします。
 - iv. **[添付]** をクリックします。
4. ワークスペースのタブで、▼ (**[メニュー]**) アイコンをクリックし、**[ワークスペースの保存]** を選択します。

添付ファイルウィンドウの設定

添付ファイルツールの設定により、My webMethods が以下のことを行うかどうかを制御します。

- 添付ファイルに対して単純ダウンロード URL または Web DAV URL のいずれかを使用します。Web DAV ファイルを使用すると、添付ファイルをローカルに保存することなく更新できます。詳細については、[78 ページの「添付ファイルツール」](#)を参照してください。
- ドラッグアンドドロップを使用してファイルを添付できるユーザインタフェースコントロールを表示します。

添付ファイルウィンドウのプロパティを設定するには

1. 添付ファイルウィンドウのタイトルバーで、▼ (**[メニュー]**) アイコンをクリックします。
2. **[プロパティ]** を選択します。
3. **[設定]** タブを選択します。
4. 添付ファイルに使用するリンクのタイプを指定するには
 - 単純ダウンロードリンクを使用するには、**[WebDav URL を使う]** チェックボックスをオフにします。
 - Web DAV URL を使用するには、**[WebDav URL を使う]** チェックボックスをオンにします。


単純ダウンロードリンクと Web DAV URL の違いの詳細については、78 ページの「添付ファイルツール」を参照してください。

5. 添付ファイルウィンドウに [ここにファイルをドロップ] ボックスを表示しない場合は、[ドラッグアンドドロップを許可] チェックボックスをオフにします。このチェックボックスをオフにすると、ファイルブラウザからファイルをドラッグして添付することができなくなります。
6. [適用] をクリックします。

添付ファイルの更新

添付ファイルウィンドウにリストしたファイルを更新できます。


添付ファイルを更新するには

1. 添付ファイルウィンドウで更新する添付ファイルの行の  アイコンをクリックします。
2. [更新] を選択します。
3. [添付ファイルの更新] ウィンドウで、[参照] をクリックします。
4. 現在のファイルの代わりに使用するファイルの場所を参照し、[開く] をクリックします。
5. [更新] をクリックします。

添付ファイルの削除

ワークスペースに添付したファイルが不要になった場合は、添付ファイルウィンドウからファイルを削除できます。

添付ファイルを削除するには

1. 削除する添付ファイルの行にある添付ファイルウィンドウで、 アイコンをクリックします。
2. [削除] を選択します。

ブックマークツール

ブックマークツールを使用すると、リンクを以下の場所に追加できます。

- 外部 Web ページ
- 他の My webMethods ワークスペース

ブックマークを外部 Web ページおよびワークスペースに追加した後、これらにすばやくアクセスできます。これらのページまたはワークスペースを表示するには、ブックマークウィンドウのリンクをクリックするだけです。

ブックマークツールを使用して、ワークスペースに関連するページにブックマークを追加します。たとえば、新規プロジェクトの要件を追跡するワークスペースを作成し、検討が必要な情報が提供されている

Web サイトを見つけた場合、ブックマークツールを使用してこの Web サイトへのリンクを追加することにより、この情報に簡単にアクセスできます。

ワークスペースへのブックマークの追加

ブックマークツールを使用して、ブックマークを以下の場所に追加できます。

- 外部 Web ページ。このページへの URL を指定します。
- 他の My webMethods ワークスペース。ワークスペースを検索して選択します。

ブックマークツールを追加した後、ウィンドウの名前変更、再配置およびサイズ変更を行うことができます。ワークスペースのウィンドウの管理の詳細については、[65 ページの「ワークスペースコンテンツの使用」](#)を参照してください。

ワークスペースにブックマークを追加するには

1. ナビゲーションパネルで、[ツール] タブをクリックします。
2. [ワークスペースツール] セクションで、[ブックマーク] ツールをコンテンツ領域のワークスペースにドラッグします。
3. ワークスペースにブックマークを追加するには
 - a. [ワークスペースの追加] をクリックします。
 - b. [ワークスペースの選択] ウィンドウで、以下のフィールドに入力し、ブックマークを追加するワークスペースを検索します。
 - a. [キーワード] フィールドで、ワークスペースの検索に My webMethods が使用するキーワードを入力します。My webMethods は、指定したキーワードをワークスペース名およびワークスペースに割り当てられたキーワードと照合します。
 - b. [検索場所] フィールドで、照合するワークスペースを検索するフォルダを選択します。
 - c. 自分が所有しているワークスペースのみを検索する場合は、[自分が所有するワークスペースのみインクルード] チェックボックスをオンにします。他のユーザと共有しているワークスペースも検索する場合は、このチェックボックスをオフにします。
 - d. [検索] をクリックします。My webMethods[結果] パネルに、一致するワークスペースが表示されます。
 - c. 検索結果で、ブックマークを追加するワークスペースのチェックボックスをオンにします。
 - d. [OK] をクリックします。
4. Web ページへのブックマークを追加するには
 - a. [リンクの追加] をクリックします。
 - b. [タイトル] フィールドに、ブックマークの説明テキストを入力します。
 - c. [場所] フィールドに、ブックマークするページの URL を入力します。
 - d. [保存] をクリックします。

5. ワークスペースのタブで、▼ ([メニュー]) アイコンをクリックし、[ワークスペースの保存] を選択します。

ブックマークツールを使用してブックマークしたページにアクセス

ブックマークしたページを表示するには

- ブックマークウィンドウでブックマークのタイトルをクリックします。


ブックマークのタイトルまたは URL の更新

ブックマークを追加した後、以下の項目を更新できます。

- ワークスペースへのブックマークの場合、ブックマークウィンドウでワークスペースに対してリストされたタイトルを更新できます。
- 外部ページへのブックマークの場合、外部ページのタイトルおよび URL を更新できます。

また、ワークスペースまたはページを同じ Web ブラウザウィンドウで開くか、あるいは新しいウィンドウで開くかを更新できます。詳細については、[83 ページの「ブックマークを現在のウィンドウで開くか新しいウィンドウで開くかの変更」](#)を参照してください。


ブックマークを更新するには

1. [ブックマーク] ウィンドウで、更新するブックマークの行にある  アイコンをクリックします。
2. [編集] を選択します。
3. ブックマークウィンドウに表示されるタイトルを変更する場合は、[名前] フィールドに新しいタイトルを入力します。
4. Web ページへのブックマークでは、URL を変更する場合、[URL] フィールドに新しい URL を入力します。
5. [保存] をクリックします。

ブックマークを現在のウィンドウで開くか新しいウィンドウで開くかの変更

ワークスペースや外部ページを現在のウィンドウで開くか新しい Web ブラウザウィンドウで開くかを選択できます。

ブックマークを現在のウィンドウで開くか新しいウィンドウで開くかを変更するには


1. [ブックマーク] ウィンドウで、更新するブックマークの行にある  アイコンをクリックします。
2. [編集] を選択します。
3. ブックマークを現在のウィンドウで開く場合は、パネルの [ブックマークを開く方法] で [現在のウィンドウで] オプションを選択します。

4. ブックマークを新しいウィンドウで開く場合は、パネルの [**ブックマークを開く方法**] で [**新しいウィンドウ** で] オプションを選択します。
5. [**保存**] をクリックします。

ブックマークの削除

ワークスペースまたは外部ページへのブックマークが不要になった場合は、ブックマークウィンドウから削除できます。

ブックマークを削除するには

1. [ブックマーク] ウィンドウで、削除するブックマークの行にある  アイコンをクリックします。
2. [**削除**] を選択します。

ディレクトリブラウザツール

ディレクトリブラウザツールを使用すると、他の My webMethods ユーザに関する情報を検索できます。表示できる情報は、My webMethods プロファイルの識別情報のサブセット (ユーザ ID、完全な名前、電子メールアドレス、インスタントメッセージのユーザ名など) です。

ユーザ情報を検索する検索ウィンドウにすばやくアクセスする必要がある場合は、ワークスペースにディレクトリブラウザツールを追加します。たとえば、新規プロジェクトの要件を追跡するワークスペースを作成し、プロジェクト内の他のユーザに連絡する必要がある場合、ディレクトリブラウザを追加して、他のユーザのユーザ情報を容易に検索できるようにすることができます。

ワークスペースへのディレクトリブラウザの追加

ワークスペースにディレクトリブラウザを追加するには、以下の手順に従います。

ディレクトリブラウザツールを追加した後、ウィンドウの名前変更、再配置およびサイズ変更を行うことができます。ワークスペースのウィンドウの管理の詳細については、[65 ページの「ワークスペースコンテンツの使用」](#)を参照してください。

ディレクトリブラウザを追加するには

1. ナビゲーションパネルで、[**ツール**] タブをクリックします。
2. [**ワークスペースツール**] セクションで、[**ディレクトリブラウザ**] ツールをコンテンツ領域のワークスペースにドラッグします。
3. ディレクトリブラウザを使用して、ユーザ、グループおよび役割を検索します。手順については、[91 ページの「ユーザ、グループおよび役割の検索」](#)を参照してください。
4. ワークスペースのタブで、▼ ([**メニュー**]) アイコンをクリックし、[**ワークスペースの保存**] を選択します。

HTML テキストツール

HTML テキストツールを使用すると、書式設定されたテキストをワークスペースに追加できます。たとえば、さまざまなフォントサイズやスタイルを使用したり、テキストを太字や斜体にしたり、下線を付けたり、テキストに色を付けたりできます。また、テキストの強調表示、行揃え、CSS スタイルシートの追加、箇条書きや数字付きリストの使用も可能です。



HTML テキストツールを使用して、ワークスペースに関連するテキストを追加します。たとえば、新規プロジェクトの要件を追跡するワークスペースを作成する場合、ワークスペースで箇条書きや数字付きリストを使用して、プロジェクトに関する情報を箇条書きで示す必要があることがあります。

書式設定されたテキストのワークスペースへの追加

書式設定されたテキストをワークスペースに追加するには、以下の手順に従います。

HTML テキストツールを追加した後、ウィンドウの名前変更、再配置およびサイズ変更を行うことができます。ワークスペースのウィンドウの管理の詳細については、[65 ページの「ワークスペースコンテンツの使用」](#)を参照してください。


書式設定されたテキストをワークスペースに追加するには


1. ナビゲーションパネルで、[ツール] タブをクリックします。
2. [ワークスペースツール] セクションで、[HTML テキスト] ツールをコンテンツ領域のワークスペースにドラッグします。
3. ワークスペースの HTML テキストウィンドウで、[テキストの編集] リンクを選択します。
My webMethodsウィンドウが入力モードになり、ウィンドウの上部に基本的な書式設定ツールが表示されます。
4. 高度な書式設定ツールを表示するには、 ([高度なツールバーのトグル]) アイコンをクリックします。
5. 書式設定ツールを使用してテキストの編集ボックスにテキストを入力し、テキストを書式設定します。
6. [適用] をクリックします。
7. ワークスペースのタブで、 ([メニュー]) アイコンをクリックし、[ワークスペースの保存] を選択します。

既存の書式設定済みテキストの更新

HTML テキストウィンドウのテキストを更新できます。テキストを更新するための編集モードにアクセスするには、以下の手順に従います。

書式設定済みテキストを更新するには

1. メモウィンドウのタイトルバーで、 ([メニュー]) アイコンをクリックします。
2. [プロパティ] を選択します。

3. [設定] タブを選択します。
My webMethodsテキストが編集モードで表示されます。
4. 高度な書式設定ツールを表示するには、 ([高度なツールバーのトグル]) アイコンをクリックします。
5. 書式設定ツールを使用してテキストの入力ボックスのテキストを更新し、テキストを書式設定します。
6. [適用] をクリックします。

イメージツール

イメージツールを使用すると、ワークスペースにイメージファイルを追加できます。Web ブラウザでサポートされている任意のタイプのイメージファイル (.gif、.jpg、.bmp、.png など) を追加できます。

イメージツールを使用して、ワークスペースに関連するイメージを追加します。たとえば、新規プロジェクトの要件を追跡するワークスペースを作成する場合、プロジェクトに関連する画面のイメージをワークスペースに表示する必要があることがあります。

イメージにテキストを含めるには、HTML テキストツールを使用してください。このツールについては、「[85 ページの「HTML テキストツール」](#)」を参照してください。

ワークスペースへのイメージの追加

イメージツールを使用して、以下の方法でイメージファイルを追加できます。

- イメージファイルへの URL を指定します。
- ファイルシステム内にあるイメージファイルをアップロードします。

デフォルトでは、実際のサイズでイメージが表示されます。ただし、オプションでイメージに使用する幅と高さを指定できます。

イメージツールを追加した後、ウィンドウの名前変更、再配置およびサイズ変更を行うことができます。ワークスペースのウィンドウの管理の詳細については、[65 ページの「ワークスペースコンテンツの使用」](#)を参照してください。

ワークスペースにイメージを追加するには

1. ナビゲーションパネルで、[ツール] タブをクリックします。
2. [ワークスペースツール] セクションで、[イメージ] ツールをコンテンツ領域のワークスペースにドラッグします。
3. ワークスペースの新規イメージウィンドウで、[\[ここをクリック\]](#) リンクを選択します。
4. ワークスペースに追加するイメージファイルを指定します。
 - URL から使用可能なイメージを指定するには
 - i. [外部 URL] オプションを選択します。
 - ii. [画像 URL] フィールドで、ワークスペースに追加するイメージの URL を入力します。

- **マシン上にあるイメージを指定するには**
 - i. [ファイルのアップロード] オプションを選択します。
 - ii. [画像ファイルの選択] フィールドにイメージファイルへのパスを入力するか、または [参照] をクリックしてファイルを選択します。
 - iii. [ファイルのアップロード] をクリックします。
5. ワークスペースでイメージのサイズを定義する場合は、以下の手順に従います。
- a. [画像の高さ] フィールドで、イメージの高さに使用するピクセル数 (たとえば、80px) またはパーセンテージ (たとえば、80%) を入力します。
 - b. [画像幅] フィールドで、イメージの幅に使用するピクセル数 (たとえば、80px) またはパーセンテージ (たとえば、80%) を入力します。

メモ: サイズを指定しない場合、My webMethods ではイメージの実際のサイズが使用されます。

6. [適用] をクリックします。
7. ワークスペースのタブで、▼ ([メニュー]) アイコンをクリックし、[ワークスペースの保存] を選択します。

ワークスペースのイメージの更新

ワークスペースに表示されるイメージを更新するには、以下の手順に従います。

ワークスペースのイメージを更新するには

1. メモウィンドウのタイトルバーで、▼ ([メニュー]) アイコンをクリックします。
2. [プロパティ] を選択します。
3. [設定] タブを選択します。
4. [画像プロパティ] ウィンドウで、ワークスペースに追加するイメージファイルを指定します。
 - **URL から使用可能なイメージを指定するには**
 - i. [外部 URL] オプションを選択します。
 - ii. [画像 URL] フィールドで、ワークスペースに追加するイメージの URL を入力します。
 - **マシン上にあるイメージを指定するには**
 - i. [ファイルのアップロード] オプションを選択します。
 - ii. [画像ファイルの選択] フィールドにイメージファイルへのパスを入力するか、または [参照] をクリックしてファイルを選択します。
 - iii. [ファイルのアップロード] をクリックします。
5. ワークスペースでイメージのサイズを定義する場合は、以下の手順に従います。
 - a. [画像の高さ] フィールドで、イメージの高さに使用するピクセル数 (たとえば、80px) またはパーセンテージ (たとえば、80%) を入力します。

- b. [画像幅] フィールドで、イメージの幅に使用するピクセル数 (たとえば、80px) またはパーセンテージ (たとえば、80%) を入力します。

メモ: サイズを指定しない場合、My webMethods ではイメージの実際のサイズが使用されます。

6. [適用] をクリックします。

メモツール

メモツールを使用すると、ワークスペースに単純なテキストを追加できます。メモツールでは、テキストの書式設定オプションは指定できません。書式設定 (箇条書きや数字付きリストの使用、フォントサイズ、スタイルや色の指定など) を必要とする複雑なテキストが必要な場合は、HTML テキストツールを使用してください。詳細については、[85 ページの「HTML テキストツール」](#)を参照してください。

メモツールを使用して、ワークスペースに関連する単純なテキストを追加します。たとえば、ワークスペースに対して実行する必要があるタスクの短い注意を追加する必要がある場合があります。

ワークスペースへの単純なメモの追加

単純なテキストをワークスペースに追加するには、以下の手順に従います。

メモツールを追加した後、ウィンドウの名前変更、再配置およびサイズ変更を行うことができます。ワークスペースのウィンドウの管理の詳細については、[65 ページの「ワークスペースコンテンツの使用」](#)を参照してください。

ウィンドウの設定を行って、メモの背景色を変更したり、メモに最終更新日を追加したりすることもできます。詳細については、[88 ページの「メモの背景色の変更」](#) および [89 ページの「メモへの最終更新日の追加」](#)を参照してください。


ワークスペースに単純なメモを追加するには

1. ナビゲーションパネルで、[ツール] タブをクリックします。
2. [ワークスペースツール] セクションで、[メモ] ツールをコンテンツ領域のワークスペースにドラッグします。
3. ワークスペースの新しいメモウィンドウで、デフォルトのテキスト [ここにテキストを入力] をクリックします。
My webMethodsウィンドウが編集モードになります。
4. 既存のテキスト上に、メモにするテキストを入力します。
5. テキストを指定した後、メモウィンドウの外側をクリックします。
6. ワークスペースのタブで、▼ ([メニュー]) アイコンをクリックし、[ワークスペースの保存] を選択します。

メモの背景色の変更

メモウィンドウの設定を更新して、メモの背景色を変更できます。


メモの背景色を変更するには

1. メモウィンドウのタイトルバーで、 ([メニュー]) アイコンをクリックします。
2. [プロパティ] を選択します。
3. [設定] タブを選択します。
4. [背景の色] フィールドで、使用する色を選択します。
5. [適用] をクリックします。

メモへの最終更新日の追加

メモウィンドウの設定を更新して、メモを更新した最終日時を追加できます。


メモに最終更新日時を追加するには

1. メモウィンドウのタイトルバーで、 ([メニュー]) アイコンをクリックします。
2. [プロパティ] を選択します。
3. [設定] タブを選択します。
4. [最終更新日を表示] チェックボックスをオンにします。
5. [適用] をクリックします。

既存のメモのテキストの更新

メモウィンドウのテキストを更新できます。テキストを更新するための編集モードにアクセスするには、以下の手順に従います。

既存のメモのテキストを更新するには

1. メモウィンドウで、既存のテキストをクリックします。
My webMethodsウィンドウが編集モードになります。
2. メモにする新しいテキストを入力します。
3. テキストを指定した後、メモウィンドウの外側をクリックします。
4. ワークスペースのタブで、 ([メニュー]) アイコンをクリックし、[ワークスペースの保存] を選択します。

ユーザカレンダーツール

ユーザカレンダーツールを使用すると、ワークスペースにユーザのカレンダーを追加して、ユーザの勤務状況を表示できます。自分のカレンダーまたは他のユーザのカレンダーを追加できます。

メモ: 管理者がシステムに対してユーザカレンダーの使用を設定しており、ユーザの電子メールアドレスが My webMethods プロファイルで設定されている場合にのみ、ユーザカレンダーに情報が表示されます。

ワークスペースへのカレンダーの追加

ワークスペースにユーザカレンダーを追加するには、以下の手順に従います。

ワークスペースにカレンダーを追加するには

1. ナビゲーションパネルで、[ツール] タブをクリックします。
2. [ワークスペースツール] セクションで、[ユーザカレンダー] ツールをコンテンツ領域のワークスペースにドラッグします。

デフォルトでは、ユーザカレンダーウィンドウは自分のユーザカレンダーを表示するように設定されています。別のユーザのカレンダーを表示するようにウィンドウを設定するには、[90 ページの「別のユーザのカレンダーを表示するように変更」](#)を参照してください。

別のユーザのカレンダーを表示するように変更

別のユーザのカレンダーを表示するようにワークスペースのユーザカレンダーを更新するには、以下の手順に従います。

別のユーザのカレンダーを表示するようにカレンダーを変更するには

1. ユーザカレンダーウィンドウの一番上の行にあるユーザ名の後で、[...] をクリックします。
2. [カレンダー設定] パネルで、[選択] をクリックします。
3. [ユーザの選択] ウィンドウを使用して、表示するカレンダーを所有するユーザを検索して選択します。手順については、[91 ページの「ユーザ、グループおよび役割の検索」](#)を参照してください。
4. ユーザを選択した後、[適用] をクリックして [ユーザの選択] ウィンドウを閉じます。
5. ユーザカレンダーウィンドウで、[適用] をクリックします。

8 ユーザ、グループおよび役割の検索

■ ユーザ、グループおよび役割の検索について	92
■ ユーザ、グループ、および役割のキーワード検索	92
■ ユーザ、グループまたは役割のキーワード検索の実行	93
■ ユーザおよびグループの高度な検索	93
■ ユーザまたはグループの高度な検索の実行	94

ユーザ、グループおよび役割の検索について

My webMethods には、ユーザ、グループおよび役割を検索するための標準の検索パネルがあります。多くの webMethods アプリケーションでは、アプリケーションページでこの検索パネルが使用されます。また、My webMethods は、ユーザ、グループまたは役割を検索する必要があるワークスペースツールでこの検索パネルを使用します。次の図に検索パネルを示します。

検索パネルは、検索のコンテキストに基づいて若干異なる場合があります。次に例を示します。

- **[ディレクトリ]** フィールドは、常に検索パネルに含まれているわけではありません。また、My webMethods は、役割の検索時に **[ディレクトリ]** フィールドを削除します。
- タイプの検索 (ユーザのみ検索など) のみが可能な場合、**[検索対象]** フィールドは省略されます。
- **[高度な検索]** タブは、常に含まれているわけではありません。この場合、検索パネルは、**[キーワード]** タブの検索フィールドを含む 1 つのパネルです。

ユーザ、グループ、および役割のキーワード検索

指定したキーワードを含むユーザ、グループまたは役割を検索するには、キーワード検索を使用します。

検索を開始するときに、ユーザ、グループまたは役割のどれを検索するかを選択し、検索で使用するキーワードを指定します。My webMethods は、ユーザ、グループまたは役割のどれを検索するかに基づいて、キーワードをユーザ ID、グループ ID または役割 ID と照合します。

キーワードには、次のように特殊文字を使用できます。

- **キーワード内の任意の位置にアスタリスク (*) を指定すると複数の文字に一致**アスタリスクは、ワイルドカード文字として機能します。たとえば、文字 b と c の間に任意の数の文字を含むグループ ID を持つすべてのグループを探す場合には、キーワードとして「b*c」と入力します。
- **キーワードを二重引用符 (" ") で囲むとストリングに完全一致**たとえば、ストリング「acct」を含むユーザ ID を持つすべてのユーザを探す場合には、「"acct"」と入力します。完全一致語句の検索では、大文字と小文字が区別されないことに注意してください。

My webMethods は、指定したキーワードに対して AND 操作を実行します。つまり、あるユーザ、グループまたは役割が検索結果として検出されるには、指定したすべてのキーワードを含んでいなければなりません。さらに、My webMethods は各キーワードがアスタリスクで囲まれているものとして検索します。たとえば、キーワード「bbb」を指定した場合、My webMethods は「*bbb*」と指定した場合と同様に検索を行い、次のエントリが返されます。

- キーワード自体と同じエントリ。たとえば、「man」では「man」が返されます。
- キーワードで始まるエントリ。たとえば、「man」では「manual」や「manufacturer」が返されます。
- キーワードで終了するエントリ。たとえば、「man」では「roman」や「snowman」が返されます。
- キーワードが埋め込まれたエントリ。たとえば、「man」では「romantic」や「adamant」が返されます。

My webMethods では、キーワードを指定した順序は考慮されません。キーワードの出現順序にかかわらず、一致するアイテムが返されます。

ユーザ、グループまたは役割のキーワード検索の実行

ユーザ、グループまたは役割のキーワード検索を実行するには、以下の手順に従います。パネルを含むアプリケーションページまたはワークスペースに基づいて、手順は若干異なる場合があります。

ユーザ、グループまたは役割のキーワード検索を実行するには

1. 検索パネルにタブがある場合、[キーワード] タブを選択します。
2. [検索対象] フィールドで、[ユーザ名]、[グループ]または[役割]のどれを検索するかを選択します。
3. [ディレクトリ] フィールドがある場合、ユーザ/グループ/役割を検索するディレクトリサービスを選択するか、または[任意のディレクトリ]を選択して、構成されているすべてのディレクトリサービスで検索します。
4. [キーワード] フィールドで、検索に使用するキーワードを入力します。指定できる文字の詳細については、[92 ページの「ユーザ、グループ、および役割のキーワード検索」](#)を参照してください。
5. [検索] をクリックします。
My webMethodsパネルの[使用可能] リストに、一致するユーザ/グループが表示されます。
6. ユーザ/グループ/役割を[選択済み] リストに移動して選択します。
7. [追加] をクリックします。

ユーザおよびグループの高度な検索

検索パネルに[高度な検索] タブがある場合、検索にフィルタを使用できます。検索を開始するときに、ユーザまたはグループのどちらを検索するかを選択し、1 つ以上のフィルタを指定します。役割の拡張検索は実行できません。

フィルタを使用すると、検索に使用するフィールドおよび照合に使用するストリング値を指定できます。検索パネルの[高度な検索] タブには、使用できるフィールド名を含む[フィールド名] リストがあります。My webMethods は、プリンシパル属性プロバイダを使用してフィールド名のリストを生成します。このリストで、太字のアイテムは、プリンシパル属性プロバイダの名前と、このプロバイダによって生成された選択肢が下に続くことを示します。

リストのフィールド名は、インストールされている webMethods コンポーネントに基づいて異なる場合があります。また、サイトの開発者は、リストに対してフィールド名を指定できるカスタムの [プリンシパル属性プロバイダ] を作成できます。


フィールドを選択するときに、フィルタごとにストリング値も指定します。指定したストリング値がユーザまたはグループのフィールド値に含まれている場合、そのユーザまたはグループが一致になります。検索では大文字と小文字は区別されません。

My webMethods は、指定したフィルタに対して AND 演算を実行します。つまり、あるユーザまたはグループが My webMethods の検索結果として検出されるには、すべてのフィルタが一致する必要があります。

ユーザまたはグループの高度な検索の実行

ユーザまたはグループの高度な検索を実行するには、以下の手順に従います。検索パネルを含むアプリケーションページまたはワークスペースに基づいて、高度な検索を使用できない場合があります。高度な検索を使用できる場合には、検索パネルに [高度な検索] タブが含まれています。

ユーザまたはグループの拡張検索を実行するには

1. 検索パネルで、[高度な検索] タブを選択します。
2. [検索対象] フィールドで、[ユーザ名] または [グループ] のどちらを検索するかを選択します。
3. [ディレクトリ] フィールドがある場合、ユーザまたはグループを検索するディレクトリサービスを選択するか、あるいは [任意のディレクトリ] を選択して、構成されているすべてのディレクトリサービスで検索します。
4. パネルの [フィルタ] セクションで、1 つ以上のフィルタを指定します。フィルタごとに以下の手順を実行します。フィルタの詳細については、93 ページの「ユーザおよびグループの高度な検索」を参照してください。
 - a. 検索に使用するフィールド名を [フィールド名] リストから選択します。
 - b. [値] フィールドに、照合するユーザ/グループのフィールド値に含まれるストリングを入力します。
 - c. 別のフィルタを追加する場合は、 ([追加]) アイコンをクリックし、手順を繰り返してフィルタを追加します。
5. [検索] をクリックします。

My webMethods パネルの [使用可能] リストに、一致するユーザ/グループが表示されます。
6. ユーザ/グループを [選択済み] リストに移動して選択します。
7. [追加] をクリックします。

9 データの検索

■ データの検索について	96
■ データのキーワード検索	98
■ キーワードで検索されるフィールドの判別	99
■ データのキーワード検索の実行	99
■ データの基本検索および高度な検索	99
■ 検索の保存	100
■ My webMethods ページの検索オプションの設定	102
■ My webMethods で検索結果を表示する形式の定義	103
■ 検索結果の操作	106

データの検索について

My webMethods には、多くのアプリケーションページに含まれている標準の検索パネルがあり、プロセスインスタンス、KPI などのさまざまなタイプのデータを検索できます。My webMethods では、データを検索する検索パネルは、検索のコンテキストに基づいて若干異なります。次の図に、データの検索に使用されるパネルの代表的なサンプルを示します。



検索パネルの 2 つのメイン領域は、検索バーと検索結果です。

ページの領域	説明
検索バー	検索バーでは、My webMethods が情報を検索する際の条件を定義できます。検索バーを使用して、ページに固有のオプションも指定できます。たとえば、ページにアクセスしたときに、保存済みの検索が自動的に実行されるようにオプションを設定できます。
検索結果	My webMethods検索パネルの下にある検索結果領域に検索の結果が表示されます。検索結果は、標準形式の表またはツリー形式のいずれかで表示されます。

次の表では、実行できる検索のタイプ、検索の実行に使用する検索パネルのタブ、および各検索タイプを使用可能な状況について説明します。

検索のタイプ	説明	検索パネルのタブ	可用性
キーワード	<p>指定したキーワードや完全一致語句を含むデータを検索します。</p> <p>キーワード検索の実行方法の詳細については、以下を参照してください。 98 ページの「データのキーワード検索」</p>	[キーワード]	キーワード検索がどのような場合に使用可能になるかは、検索されているデータによって決まります。
基本	<p>キーワード検索が使用可能でない場合は、基本検索条件を使用して検索します。</p>	[基本]	基本検索が使用可能かどうかは、検索されているデータによって決まります。
高度な検索	<p>キーワードおよび完全一致語句に検索条件を追加して、特定の情報を探す詳細な検索を実行します。</p> <p>詳細については、99 ページの「データの基本検索および高度な検索」を参照してください。</p>	[高度な検索]	高度な検索は、検索対象のデータに対して、特定の情報を探す詳細な検索条件を指定できる場合のみ使用可能です。
保存済み	<p>検索の条件を保存することによって、検索を再実行できます。検索を保存する場合、検索条件に名前を付けます。その後、検索を再実行するときには、割り当てた名前を選択します。キーワード検索および高度な検索は、保存と再実行が可能です。</p> <p>検索条件を保存し検索を再実行する方法の詳細については、以下を参照してください。 100 ページの「検索の保存」</p>	[保存済み]	保存済み検索の再実行は、検索パネルから常に使用可能です。

検索パネルがある My webMethods ページごとにデフォルトの検索オプションを設定できます。たとえば、My webMethods ページを表示したときに、検索パネルのタブを表示するかどうかや、検索が自動的に実行されるようにするかどうかなどを設定できます。詳細については、[102 ページの「My webMethods ページの検索オプションの設定」](#)を参照してください。

My webMethods では、標準形式の表またはツリー形式のいずれかで検索結果を表示します。検索結果の表示はカスタマイズできます。たとえば、画面に表示する列を選択できます。表示オプションの詳細および標準形式の表とツリー形式の説明については、[103 ページの「My webMethods で検索結果を表示する形式の定義」](#)を参照してください。

検索結果のアイテムに対してアクションを実行できます。たとえば、ログに記録されたサービスデータを検索した場合は、検索結果からサービスを再サブミットできます。詳細については、[106 ページの「検索結果の操作」](#)を参照してください。

データのキーワード検索

指定したキーワードや完全一致語句を含むエントリを検索するには、キーワード検索を使用します。

キーワードを検索する場合、My webMethods は 1 つ以上のフィールドにわたって検索します。My webMethods で検索対象のフィールドを判別する方法の詳細については、[99 ページの「キーワードで検索されるフィールドの判別」](#)を参照してください。キーワード検索では、大文字と小文字が区別されません。

キーワードには、次のように特殊文字を使用できます。

- **キーワード内の任意の位置にアスタリスク (*) を指定すると複数の文字に一致**アスタリスクは、ワイルドカード文字として機能します。たとえば、文字 b と c の間に任意の数の文字を含むすべてのエントリを探す場合には、キーワードとして「b*c」と入力します。
- **キーワードを二重引用符 (" ") で囲むと語句に完全一致**たとえば、「123 Main Street」という語句を含むすべてのエントリを探す場合には、「"123 Main Street"」と入力します。完全一致語句の検索では、大文字と小文字が区別されないことに注意してください。

My webMethods は、指定したキーワードに対して AND 操作を実行します。つまり、あるエントリが検索結果として検出されるには、指定したすべてのキーワードを含んでいなければなりません。さらに、My webMethods は各キーワードがアスタリスクで囲まれているものとして検索します。たとえば、キーワード「bbb」を指定した場合、My webMethods は「*bbb*」と指定した場合と同様に検索を行い、次のエントリが返されます。

- キーワード自体と同じエントリ。たとえば、「man」では「man」が返されます。
- キーワードで始まるエントリ。たとえば、「man」では「manual」や「manufacturer」が返されます。
- キーワードで終了するエントリ。たとえば、「man」では「roman」や「snowman」が返されます。
- キーワードが埋め込まれたエントリ。たとえば、「man」では「romantic」や「adamant」が返されます。


My webMethods では、キーワードを指定した順序は考慮されません。キーワードの出現順序にかかわらず、エントリが返されます。

キーワードを指定しない場合、My webMethods は、定義されている最大結果数に至るまですべてのエントリを検索結果として返します。キーワード検索の検索結果の最大数は、My webMethods によって設定されており、通常は 200 です。最大結果数を定義する場合は、[\[オプション\]](#) タブの [\[最大結果数\]](#) または [\[最大値なし\]](#) フィールドを使用します。詳細については、[102 ページの「My webMethods ページの検索オプションの設定」](#)を参照してください。


メモ: My webMethods では、各種のデータソースおよびデータベースにわたって検索します。一部のデータソースおよびデータベースでは、英数字でない特定の文字を含む検索が許可されない場合があります。英数字ではない文字をキーワードに指定しており、その文字の検索がデータソースまたはデータベースで

サポートされていない場合でも、My webMethods はエラーを発行したりキーワードの再入力を要したりせず、その検索を続行します。ただしこのとき、サポートされていない文字は、任意の 1 文字と一致するワイルドカード文字に置き換えられます。そのため検索結果には、指定した検索条件と完全には一致しない追加のエントリが含まれることがあります。

キーワードで検索されるフィールドの判別

My webMethods がキーワードと照合するフィールドは、表示しているページによって異なります。 ([[キーワード検索ヘルプ](#)]) アイコンを使用して、My webMethods で一致エントリの検索に使用するフィールドを判別します。

My webMethods が検索するフィールドを判別するには

-  ([[キーワード検索ヘルプ](#)]) アイコンをクリックするか、アイコンの上にマウスポインタを置きます。検索対象のフィールドをリストしたテキストが表示されます。

データのキーワード検索の実行

データのキーワード検索を実行するには、以下の手順に従います。

データのキーワード検索を実行するには

1. 検索パネルで、[[キーワード](#)] タブをクリックします。
2. テキストボックスに、検索するキーワードを入力します。指定できる文字の詳細については、[98 ページの「データのキーワード検索」](#)を参照してください。
3. [[検索](#)] をクリックして、検索を開始します。

My webMethods結果が表示されます。詳細については、[103 ページの「My webMethods で検索結果を表示する形式の定義」](#) および [106 ページの「検索結果の操作」](#) を参照してください。

ヒント: 今後この検索を実行する必要がある場合は、検索条件に名前を付けて保存できます。次に検索を再実行するときは、実行する検索条件を選択するだけです。詳細については、[100 ページの「検索の保存」](#)を参照してください。

データの基本検索および高度な検索

検索パネルに [[基本](#)] または [[高度な検索](#)] タブが含まれている場合、これらのタイプの検索を実行できます。基本検索は、通常はキーワード検索の代わりに使用できます。高度な検索は、通常はキーワード検索が可能な場合に使用でき、特定の情報の詳細検索を実行できる追加の検索条件も指定できます。

基本検索と高度な検索では、表示しているページに固有のフィールドが含まれているため、これらの検索で使用可能な検索条件フィールドは異なります。たとえば、My webMethods で、プロセスインスタンスに関する情報を示す監視中の [[プロセスインスタンス](#)] ページが表示されているとします。[[プロセスインスタンス](#)] ページの [[高度な検索](#)] タブには、特定のプロセスインスタンスを検索できるフィールドが含まれま

す。特定のプロセスモデルに基づいてプロセスインスタンスを探すために使用できるフィールドや、特定の状態 (完了状態など) のプロセスインスタンスを探すために使用できるフィールドなどがあります。

[**高度な検索**] タブの検索条件は表示されているページ固有ですが、多くの場合、[**高度な検索**] タブには検索を制限する日時範囲など、期間を指定するフィールドが含まれています。通常、この条件は [**範囲**] 検索条件と呼ばれます。次の表では、[**範囲**] 検索条件の通常の機能について説明します。

条件	説明
[範囲]	<p>My webMethods で検索するデータに時間的特徴が関連付けられている場合、指定された期間内に検索を制限する [範囲] リストを使用できます。</p> <p>[範囲] リストには、次のものが含まれています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 相対的な期間 ([今日]、[過去 7 日間]、[前月] など) を選択できるオプション。 ■ 固定的な期間を指定できる [カスタム] オプション。[カスタム] オプションを選択した場合、[開始日]、[終了日] および [時刻] フィールドも入力して固定期間を指定する必要があります。 <p>重要: [カスタム] オプションを使用して固定期間を指定した場合、My webMethods は指定した固定期間内にあるデータを返します。検索結果をワークスペースに追加すると、追加されるデータは静的になります。つまり、表示されるデータは常に指定した固定期間のデータになります。データを動的に表示するには、相対期間オプションのいずれか ([過去 7 日間] など) を使用してください。詳細については、107 ページの「ワークスペースへの検索結果の追加」 を参照してください。</p>

基本検索または高度な検索の実行手順は、表示しているページによって異なります。使用しているタスクについての情報を含む適切なマニュアルを参照してください。

My webMethods は、定義されている最大結果数に至るまですべてのエントリを検索結果として返します。検索の検索結果の最大数は、My webMethods によって設定されており、通常は 200 です。最大結果数を定義する場合は、[**オプション**] タブの [**最大結果数**] または [**最大値なし**] フィールドを使用します。詳細については、[102 ページの「My webMethods ページの検索オプションの設定」](#) を参照してください。

My webMethods では、検索結果を表形式で表示します。詳細については、[103 ページの「My webMethods で検索結果を表示する形式の定義」](#) および [106 ページの「検索結果の操作」](#) を参照してください。

ヒント: 今後この検索を実行する必要がある場合は、検索条件に名前を付けて保存できます。次に検索を再実行するときは、実行する検索条件を選択するだけです。詳細については、[100 ページの「検索の保存」](#) を参照してください。

検索の保存

同じ検索を頻繁に実行する必要がある場合、検索クエリーを保存するオプションがあります。検索クエリーの保存は、複数の検索条件または検索フィルタで構成された高度な検索を実行する場合に特に役立ちます。

検索を保存した後は、検索を実行するたびに同じ検索条件を入力するのではなく、簡単に保存済みの検索を選択して再実行できます。キーワード検索と高度な検索は保存が可能です。

ヒント: クエリーを保存する代わりに、または保存に加えて、迅速に検索結果にアクセスする必要がある場合は、ワークスペースに結果を追加します。ワークスペースを表示するたびに、検索結果が表示されるようになります。詳細については、[107 ページの「ワークスペースへの検索結果の追加」](#)を参照してください。

今後も再実行する検索条件を保存するには

1. 保存したい検索を実行します。検索実行の詳細については、次のいずれかを参照してください。
 - [99 ページの「データのキーワード検索の実行」](#)
 - [99 ページの「データの基本検索および高度な検索」](#)
2. **[保存]** をクリックします。[検索の保存] ダイアログボックスが表示されます。
3. **[検索名]** フィールドに、検索に割り当てる名前を入力します。
4. **[OK]** をクリックします。

保存済み検索の再実行

前に保存した検索を再実行するには、以下の手順に従います。

保存済み検索を再実行するには

1. **[保存済み]** タブをクリックします。
2. **[保存済み検索]** リストから再実行する検索を選択します。

ヒント: 選択した検索の検索条件を確認するには、**[詳細]** をクリックします。保存済み検索の条件が表示されます。

3. 再実行する検索を選択したら、**[検索]** をクリックします。

保存済み検索の変更

保存された検索の検索条件を変更し、変更した状態で検索を再保存することができます。

保存済み検索の検索条件を変更するには

1. **[保存済み]** タブをクリックします。
2. **[保存済み検索]** リストから再実行する検索を選択します。
3. **[詳細]** をクリックします。以下の両方を含むすべての検索条件が表示されます。
 - 検索を保存したときに指定した検索フィールド。必要に応じて変更できます。My webMethods には、これらの検索フィールドの現在の設定が表示されます。
 - 前に設定しなかった検索フィールド。検索条件を変更するときに設定できます。

4. 検索条件に変更を加えます。
5. 変更を保存するには、[保存] をクリックします。

保存済み検索の削除

保存された検索が不要になった場合は、削除できます。

保存済み検索を削除するには

1. [保存済み] タブをクリックします。
2. [保存済み検索] リストから削除する検索を選択します。

ヒント: 選択した検索の検索条件を確認するには、[詳細] をクリックします。保存済み検索の条件が表示されます。

3. 削除する検索を選択したら [削除] をクリックします。

My webMethods ページの検索オプションの設定

検索パネルがある My webMethods ページごとに、そのページだけに適用される検索オプションを定義できます。これらの検索オプションには、以下のものがあります。

- My webMethods ページに最初にアクセスするときにデフォルトで表示する検索パネルのタブ ([キーワード] や [高度な検索] など)。
- My webMethods ページに最初にアクセスしたときに検索を自動的に実行するかどうか。実行する場合は、実行する保存済みの検索。
- 検索の実行を停止するまでに My webMethods で抽出される検索結果の最大数。

My webMethods ページの検索オプションを設定するには

1. 検索オプションを設定する My webMethods ページにアクセスします。
2. [オプション] タブをクリックします。
3. My webMethods ページに最初にアクセスしたときに表示される検索パネルのタブを定義するには、[検索タブ] フィールドを使用します。次のいずれかを選択します。

選択項目	説明
[キーワード]	[キーワード] タブが表示されます。
[基本]	[基本] タブが表示されます。
[高度な検索]	[高度な検索] タブが表示されます。

選択項目	説明
[保存済み]	[保存済み] タブが表示されます。
[保存済み - 詳細]	[保存済み] タブが表示されます。このタブには、表示されている保存済み検索条件に関する詳細を示すフィールドがあります。

- ロードする保存済み検索を選択し、オプションで実行するには、[保存済み検索を選択] フィールドと [ウィンドウ表示時に選択した保存済み検索を実行] チェックボックスを使用します。
 - [保存済み検索を選択] フィールドを使用して、My webMethods ページに最初にアクセスするときにはロードする保存済み検索を指定します。

[ウィンドウ表示時に選択した保存済み検索を実行] チェックボックスをオンにしない場合 (これについては次の手順で説明します)、My webMethods ページにアクセスしたときには My webMethods は検索を自動的に実行せず、[検索] をクリックしたときに検索が実行されます。[検索タブ] フィールドを [保存済み] または [保存済み検索 - 詳細] に設定した場合は、この My webMethods ページに最初にアクセスしたときに、このタブで選択した保存済み検索が表示されます。

[保存済み検索を選択] フィールドで保存済み検索を選択しない場合、ページに最初にアクセスしたときには、検索のロードも実行も行われません。
 - [保存済み検索を選択] フィールドで選択した保存済み検索を My webMethods で実行するには、[ウィンドウ表示時に選択した保存済み検索を実行] チェックボックスをオンにします。このチェックボックスをオンにした場合、My webMethods ページにアクセスしたときに、選択した保存済み検索が自動的に実行され、[検索タブ] フィールドの設定に関係なく結果が表示されます。
- 検索の実行を停止するまでに My webMethods で抽出される検索結果の最大数を定義するには、[最大結果数] フィールドまたは [最大値なし] チェックボックスを使用します。

検索結果の最大数を定義する場合 [最大結果数] フィールドに数値を入力します。[最大結果数] は、最新の情報にのみ関心がある場合に使用します。制限を設定することで、検索がより高速に実行され、検索結果がより迅速に返されます。

常にすべての検索結果を表示する場合 [最大値なし] チェックボックスをオンにします。[最大値なし] チェックボックスをオンにした場合は、検索の実行に時間がかかる可能性があり、検索結果が表示されるまでしばらく待つ必要があることもあります。

- [保存] をクリックして検索オプションを保存します。

My webMethods で検索結果を表示する形式の定義

My webMethods では、検索結果を表形式で表示します。次の表に、検索結果に使用できる表示オプションと、表示オプションに関する詳細情報が記載されている場所をリストします。表示オプションがすべての

オプションで使用可能かどうか、また、どのオプションを使用できるかは、My webMethods で表示されているページによって決まります。

表示オプション	参照先
検索結果の並べ替え順序 <ul style="list-style-type: none"> ■ 検索結果のデフォルトの並べ替え順序を定義します。 ■ My webMethods で結果が最初に表示された後に検索結果を再び並べ替えます。 	104 ページの「 検索結果の並べ替え 」
検索結果の行数 <ul style="list-style-type: none"> ■ 検索結果の表示に使用する行数を定義します。 	105 ページの「 ページごとに表示する検索結果の行数の定義 」
表示する列 <ul style="list-style-type: none"> ■ 検索結果で使用する列と、列が表示される順序を定義します。 	105 ページの「 表示する列とその表示順序の設定 」

検索結果の並べ替え

検索パネルを含む各 My webMethods ページについて、検索結果を表示する際のデフォルトの並べ替え順序を定義できる場合があります。デフォルトは、そのページだけに適用されます。並べ替え順序を指定できるかどうかは、ページによって決まります。次の手順で説明する並べ替えフィールドが存在するかどうかによって、並べ替え順序を設定できるかどうかを判別できます。

選択したデフォルトの並べ替え順序で検索結果が表示された後でも、検索結果を再び並べ替えることができます。

特定の My webMethods ページで検索結果のデフォルトの並べ替え順序を設定するには

1. 表示オプションを設定する My webMethods ページにアクセスします。
2. 検索結果パネルウィンドウで、▼ ([メニュー]) アイコンをクリックして [プロパティ] を選択します。
3. [設定] タブをクリックします。
4. [並び替え基準] フィールドで、検索結果の並べ替えに使用する列名を選択します。
5. [並び替え順序] では、[昇順] または [降順] を選択して並べ替え順序を指定します。
6. [適用] をクリックします。

検索結果の再並べ替え


検索結果を再び並べ替えるには

- 検索結果を再び並べ替えるには、検索結果の並べ替えに使用する列の列見出しで ▼ アイコンをクリックします。並べ替えに現在使用されている列の列ヘッダーの横に ▲ アイコンまたは ▼ アイコンを表示することで、現在の並べ替え順序が示されます。
 - ▲ アイコンは、結果が昇順で並べ替えられていることを示します。
 - ▼ アイコンは、結果が降順で並べ替えられていることを示します。

たとえば、検索結果に「PROCESS」というラベルの列が含まれ、データをプロセス名に基づいてアルファベット順に並べ替える場合、列見出し「PROCESS」の ▼ アイコンをクリックします。

ページごとに表示する検索結果の行数の定義

検索結果の各ページに My webMethods が表示する行数を設定できます。たとえば、ある検索の結果が 18 件あり、各ページに表示する行数を 10 と定義した場合、My webMethods では 2 ページにわたって結果が表示されます。つまり、最初のページには 10 件、次のページには 8 件表示されます。

ヒント: すべての検索結果に対して同じアクションを行う場合は、すべてを表示するように行数を設定します。次に、 ([すべて選択]) アイコンを使用して、検索結果のすべてのアイテムを選択します。これによってすべてのアイテムに対して一度に同じアクションを実行できます。たとえば、複数のアイテムをまとめて削除する必要がある場合に使用します。検索結果の操作の詳細については、[106 ページの「検索結果のアイテムに対するアクションの実行」](#)を参照してください。

ページごとに表示する検索結果の行数を定義するには

1. 表示オプションを設定する My webMethods ページにアクセスします。
2. 検索結果パネルウィンドウで、▼ ([メニュー]) アイコンをクリックして [プロパティ] を選択します。
3. [設定] タブをクリックします。
4. [表示する行数] フィールドで、この My webMethods ページに検索結果を表示するときに使用する行数を選択します。
5. [適用] をクリックします。

表示する列とその表示順序の設定

各 My webMethods ページで、検索結果に表示される列をカスタマイズできます。また、列を表示する順序を指定できます。

検索結果の列の表示をカスタマイズするには

1. 表示オプションを設定する My webMethods ページにアクセスします。
2. 検索結果パネルウィンドウで、▼ ([メニュー]) アイコンをクリックして [プロパティ] を選択します。
3. [設定] タブをクリックします。

4. 含める列を指定するには、パネルの **[列表示]** セクションで、列を **[選択済み]** ボックスに移動します。
5. 検索結果に列を表示する順序を指定するには、列名をリスト内で上下に移動します。
6. **[適用]** をクリックして列表示の変更を保存します。

検索結果の操作

次の表に、検索結果の使用方法を示します。

タスク	参照先
検索結果で返されたアイテムに対するアクションの実行。たとえば、エントリの編集などです。	106 ページの「検索結果のアイテムに対するアクションの実行」
ワークスペースへの検索結果の追加	107 ページの「ワークスペースへの検索結果の追加」
カンマ区切りテキストファイル (.csv ファイル) への検索結果のエクスポート	108 ページの「.csv ファイルへの検索結果のエクスポート」

検索結果のアイテムに対するアクションの実行

通常は、検索結果にリストされたアイテムに対してアクションを実行できます。使用可能なアクションは、3つのカテゴリに分類されます。

- 検索結果の複数のアイテムに対するアクション (1つ以上のアイテムの削除など)
- アイテムを追加するアクション
- 検索結果の1つのアイテムに対するアクション (アイテムの編集、アイテムについての詳細の表示など)



特定の検索パネルで使用可能なアクションとアクションの実行方法の詳細については、タスクに関する適切なマニュアルを参照してください。

検索結果の複数のアイテムに対するアクションの実行


検索結果の複数のエントリに対してアクションを実行できる場合、検索結果の上部に機能バーが表示されます。機能バーには、実行できる各アクションのボタンが含まれます。たとえば、**[監視] > [ビジネス] > [プロセスインスタンス]** ページには、1つ以上のプロセスインスタンスを再サブミットできる **[再サブミット]** ボタンがあります。検索結果で、再サブミットする各プロセスインスタンスをマーキングし、**[再サブミット]** をクリックします。

検索結果の複数のアイテムに対してアクションを行うには

1. チェックボックスを選択してアイテムを選択します。

検索結果のページに現在表示されているすべてのアイテムを選択するには、 ([すべて選択]) アイコンをクリックします。現在表示されているページで選択したすべてのアイテムを選択解除するには、 ([すべて選択解除]) アイコンをクリックします。

2. アクションを実行するアイテムを選択したら、機能バーで適切なボタン (たとえば、[削除]) をクリックします。

ヒント: すべての検索結果に対して同じアクションを実行する場合は、まず、検索結果に表示する行数を更新して 1 ページにすべての検索結果を表示します。次に、 ([すべて選択]) アイコンを使用して、検索結果のすべてのアイテムを選択します。これによってすべてのアイテムに対して一度に同じアクションを実行できます。設定の詳細については、[105 ページの「ページごとに表示する検索結果の行数の定義」](#)を参照してください。

アイテムの追加

アイテムを追加できる場合、アイテムの追加に使用できるボタンが機能バーに表示されます。たとえば、[監視] > [システム全体] > [ルール] > [ルールリスト] ページには [ルールの作成] ボタンがあります。新規ルールを追加するには、[ルールの作成] をクリックします。



アイテムを追加するには

- 通常「追加」または「作成」というラベルで示される追加ボタンをクリックします。

My webMethods で次のウィンドウが表示されたら、追加する新規アイテムの説明に必要な情報を入力します。

検索結果の 1 つのアイテムに対するアクションの実行

検索結果の個別のアイテムに対してアクションを実行できる場合、アイテムの行にアクションアイコンが表示されます。アクションアイコンは、列の表示を並べ替えて別の場所に配置しない限り、右側に表示されます。

共通のアクションアイコンが 2 つあります。検索結果にあるアイテムの情報を編集する  ([編集]) アイコンと、検索結果にあるアイテムの詳細情報を表示する  ([詳細]) アイコンです。

検索結果の 1 つのアイテムに対してアクションを行うには

- アクションを実行するアイテムに対して適切なアイコンをクリックします。


ワークスペースへの検索結果の追加

ワークスペースに検索結果を追加できます。

重要: 固定期間を指定した条件が検索に含まれる場合 (たとえば、検索条件 [範囲] の [カスタム] オプションを使用してワークスペースに検索結果を追加した場合など)、データは静的です。つまり、表示される

データは常に指定した固定期間のデータになります。検索条件 [範囲] の詳細については、99 ページの「データの基本検索および高度な検索」を参照してください。

ワークスペースに検索結果を追加するには

1. ワークスペースに追加する検索結果を含むウィンドウのタイトルバーで、 ([ツール]) アイコンをクリックします。
2. [ワークスペースへ追加] を選択します。
3. [ワークスペースへ追加] ウィンドウで、検索結果を追加するワークスペースを検索します。
 - a. [キーワード] フィールドで、ワークスペースの検索に My webMethods が使用するキーワードを入力します。My webMethods は、指定したキーワードをワークスペース名およびワークスペースに割り当てられたキーワードと照合します。
 - b. [検索場所] フィールドで、照合するワークスペースを検索するフォルダを選択します。
 - c. 自分が所有者であるフォルダのみを検索するか、他のユーザと共有しているフォルダも検索するかを指定します。
 - 自分が所有しているワークスペースのみを検索するには、[自分が所有するワークスペースのみインクルード] チェックボックスをオンにします。
 - 自分がアクセスできるすべてのワークスペースを検索するには、[自分が所有するワークスペースのみインクルード] チェックボックスをオフにします。
 - d. [検索] をクリックします。
4. [結果] パネルで、検索結果を追加するワークスペースを選択します。
5. [追加] をクリックします。

.csv ファイルへの検索結果のエクスポート

検索結果パネルに [表のエクスポート] 機能が含まれている場合、検索結果をカンマ区切りテキストファイル (.csv ファイル) にエクスポートできます。

[表のエクスポート] 機能は、非表示 (データのみ) または画面にレンダリングされている列がエクスポート可能にマークされている場合に、その列をエクスポートします。画面にレンダリングされていない列は、エクスポート可能とマークされている場合でも、出力から省略されます。

検索結果を .csv ファイルにエクスポートすると、.csv ファイルを Microsoft Excel、Microsoft Access、または .csv ファイル形式をサポートしているその他のアプリケーションにインポートできます。

検索結果をエクスポートするには

1. 検索結果の右上にある [表のエクスポート] をクリックします。
2. [文字エンコーディング] リストから、使用する文字エンコーディングを選択します。
3. [エクスポート] をクリックします。
4. [保存] をクリックして、検索結果をファイルに保存します。
5. [名前を付けて保存] ダイアログボックスで、.csv ファイルを保存する場所を参照します。

6. [保存] をクリックします。